

## 東温市地域公共交通網形成計画策定調査業務にかかる プロポーザル実施結果について

### 1. 受託事業者

株式会社バイタルリード（島根県出雲市荻杼町274番地2）

### 2. 契約期間

平成27年8月12日～平成28年3月25日

### 3. 契約額

4,644,000円（消費税及び地方消費税を含む）

※提案限度額4,698千円（消費税及び地方消費税を含む）

### 4. 契約までの流れ

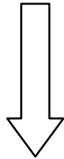
平成27年6月29日(月)

◇平成27年度第1回協議会開催

・評価委員会の設置

◇第1回評価委員会開催

・プロポーザル実施要領、仕様書の決定

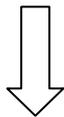


6月30日(火)～7月10日(金)

◇プロポーザル実施要領・仕様書のHP公開

・参加意向申出書の受付期間

参加意向申出書提出数…2社



7月27日(月)～8月4日(火)

◇企画提案書の提出期間

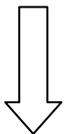


8月6日(木)

◇第2回評価委員会開催

・プレゼンテーションの実施

・事業者の選定

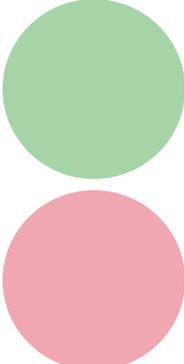


8月12日(水)

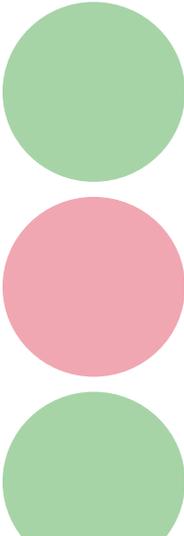
◇契約締結

目標	事業概要	実施内容	事業の評価	サービス供給目標	検証	目標の達成状況															
<b>幹</b> 基幹交通と生活交通の連携強化	<b>交通結節点の機能強化</b> (横河原駅) ・駅前広場車両進入路の確保 ・利用動線の整理	■駅前広場のロータリー化 平成23年9月30日完成 ■駅舎のバリアフリー化 平成28年2月末供用開始予定 ■横河原駅周辺の整備 平成27～28年度実施	計画どおりに事業が実施されている。 	<b>目標Ⅰ</b> 結節点における乗り継ぎの満足度の向上	■検証方法 交通結節点でのアンケート調査(乗り継ぎの満足度 など) ■検証結果 【路線バス乗り継ぎの満足度】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重信中心部</td> <td>11%</td> <td>19% ↑</td> </tr> <tr> <td>重信山間部</td> <td>11%</td> <td>24% ↑</td> </tr> <tr> <td>川内中心部</td> <td>14%</td> <td>25% ↑</td> </tr> <tr> <td>川内山間部</td> <td>6%</td> <td>31% ↑</td> </tr> </tbody> </table> H22.9: 移動に関するアンケート調査 H24.9: 市内バスの取り組みに関するアンケート調査 (参考)H25.8: 山間部を対象とした住民アンケート調査 【乗換の満足度】 バスと鉄道:37% バスとバス:29%		H22	H24	重信中心部	11%	19% ↑	重信山間部	11%	24% ↑	川内中心部	14%	25% ↑	川内山間部	6%	31% ↑	全ての地域で満足度が向上しており、取組みが満足度の向上に寄与している。
		H22	H24																		
重信中心部	11%	19% ↑																			
重信山間部	11%	24% ↑																			
川内中心部	14%	25% ↑																			
川内山間部	6%	31% ↑																			
<b>乗り継ぎ環境の改善</b> (川内営業所) ・交流機能を持つ待合空間としての活用	■川内バスターミナル新築(平成24年1月) ・待合室の整備 ・多目的トイレの設置 ・木製ベンチの設置 	計画どおりに事業が実施されている。																			
<b>枝</b> 各地域に適した公共交通サービスの提供	<b>定時定路線運行の維持</b>	【平成23年10月～】 山間バス路線で試験運行を実施(運行ダイヤ見直し・増便、上林線の新設)	計画どおりに事業が実施されている。 実施した事業の評価を行い、評価結果に基づいたバス路線見直しの「基本的な考え方」「見直しフロー」「バス廃止後のおでかけ交通構築方針」を策定した。	<b>目標Ⅱ</b> 山間部における路線バスの利便性向上	■検証方法 ・住民へのアンケート調査(公共交通利用の満足度) ・バス路線の乗降客数調査 ■検証結果 【運行本数の満足度】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重信中心部</td> <td>15%</td> <td>19% ↑</td> </tr> <tr> <td>重信山間部</td> <td>11%</td> <td>21% ↑</td> </tr> <tr> <td>川内中心部</td> <td>15%</td> <td>32% ↑</td> </tr> <tr> <td>川内山間部</td> <td>10%</td> <td>44% ↑</td> </tr> </tbody> </table> H22.9: 移動に関するアンケート調査 H24.9: 市内バスの取り組みに関するアンケート調査 (参考)H25.8: 山間部を対象とした住民アンケート調査 ・運行本数の満足度 29% ・自動車を利用できない人の生活が便利になった:43.8% ・送迎の手間が減った:16.8% ・自分の生活が便利になった:22.1%		H22	H24	重信中心部	15%	19% ↑	重信山間部	11%	21% ↑	川内中心部	15%	32% ↑	川内山間部	10%	44% ↑	全ての地域で満足度が向上しており、取組みが利便性向上に寄与している。
		H22				H24															
	重信中心部	15%				19% ↑															
	重信山間部	11%				21% ↑															
川内中心部	15%	32% ↑																			
川内山間部	10%	44% ↑																			
<b>利用しやすい路線・ダイヤの設定</b> (山間部) ・運行ダイヤ見直し・増便、新規路線(上林線)等	【平成25年度】 試験運行の評価を実施 PDCAサイクルで継続的な見直しを行うフローを作成 【平成26年10月】 山間路線において利用状況に応じて運行内容の見直しの実施(利用が非常に少ない便の減便)																				
<b>利用しやすい車両の導入</b> ・低床バスの導入、小型バスの導入等	試験運行にあわせ、ノンステップバス導入																				
<b>市内循環バスの検討</b>	【平成23年度】 市内循環バスについて検討する市民参加のワークショップを開催(全7回)																				
<b>葉</b> 公共交通の重要性の意識の醸成	<b>公共交通に関する情報の提供</b> 公共交通マップの作成・配布等	【平成24年2月】「東温市公共交通マップ」作成・配布(5,000部) 【平成26年10月】「東温市公共交通便利帳」作成・配布(15,000部)	計画どおりに事業が実施されている。	<b>目標Ⅲ</b> 公共交通マップの配布等による公共交通に対する認知度・関心度の向上	■検証方法 住民のアンケート調査 ① 公共交通の認知度 ② 外出時の移動手段の分担率 ③ 公共交通利用での外出頻度 ■検証結果 ① 公共交通の認知度 【H24.9: 市内バスの取り組みに関するアンケート調査】 市内バス路線の取り組みを知っている人の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重信中心部</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>重信山間部</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td>川内中心部</td> <td>82%</td> </tr> <tr> <td>川内山間部</td> <td>82%</td> </tr> </tbody> </table> 【H25.8: 山間部を対象とした住民アンケート調査】 市内バス路線の運行内容改善を知っている人:56% ② 外出時の移動手段の分担率 ③ 公共交通利用での外出頻度 【H25.8: 山間部を対象とした住民アンケート調査】 路線バス再編により外出頻度が増加した人: 22.8%		H24	重信中心部	70%	重信山間部	72%	川内中心部	82%	川内山間部	82%	外出頻度が増加した人が22.8%と、路線バス再編、またそれにとまなう情報周知等による効果が認められ、取組みが認知度・関心度の向上に寄与している。					
		H24																			
	重信中心部	70%																			
重信山間部	72%																				
川内中心部	82%																				
川内山間部	82%																				
<b>公共交通利用のキッカケの提供</b> 交通まちづくり学習の実施、バス試乗会イベントの実施等	【平成23年度】 ・平成24年2月から広報とうおんに「公共交通ニュース」を連載開始 【平成24年度】 ・小学生バスの絵コンテスト ・小学生エコ交通まちづくり学習 ・路線バスの乗車体験イベント 【平成25年度～】 ・バスの乗り方教室の実施 【平成26年度】 ・交通まちづくりワークショップ(全2回) ・地域のおでかけ手段を考える勉強会 ・住民主体の取り組みを考える勉強会   	計画どおりに各種イベントが継続的に実施されている。 																			
<b>マイレール・マイバス意識の醸成</b> 地域児童の絵画の車内掲示、サポーター制度の導入、地域ボランティアによる美化清掃等	【平成24年】 ・3月～4月:バスの絵コンテスト入賞作品の車内展示 【平成26年度】 ・バス応援団認定制度の創設 ・おでかけ交通利用促進活動助成事業の創設 	ボランティアの美化清掃以外は、概ね事業が実施されている。																			





# 東温市における地域公共交通の 取り組みの評価



平成27年11月12日  
東温市地域公共交通活性化協議会

# 東温市の地域公共交通に係る計画の概要

東温市第1次総合計画

東温市都市計画マスタープラン

東温市地域公共交通総合連携計画（H23年3月策定）

H23～25年度 各種取り組み

東温市地域公共交通活性化プラン  
（H26年2月策定）

H26～27年度 新しい取り組み

総合連携計画の  
・取り組みの評価・検証  
・2年間の具体的取り組みの計画

東温市第2次総合計画

東温市人口ビジョン、総合戦略

（H27策定）

東温市地域公共交通網形成計画  
（H28年3月策定予定）

# 東温市地域公共交通総合連携計画の基本方針

## 地域の将来像に向けた方向性

東温市の持つ資源（特性）を最大限に活用し、地域間及び地域内交流を充実・発展させるとともに“まち”の魅力向上を図り、地域の活性化を目指す。

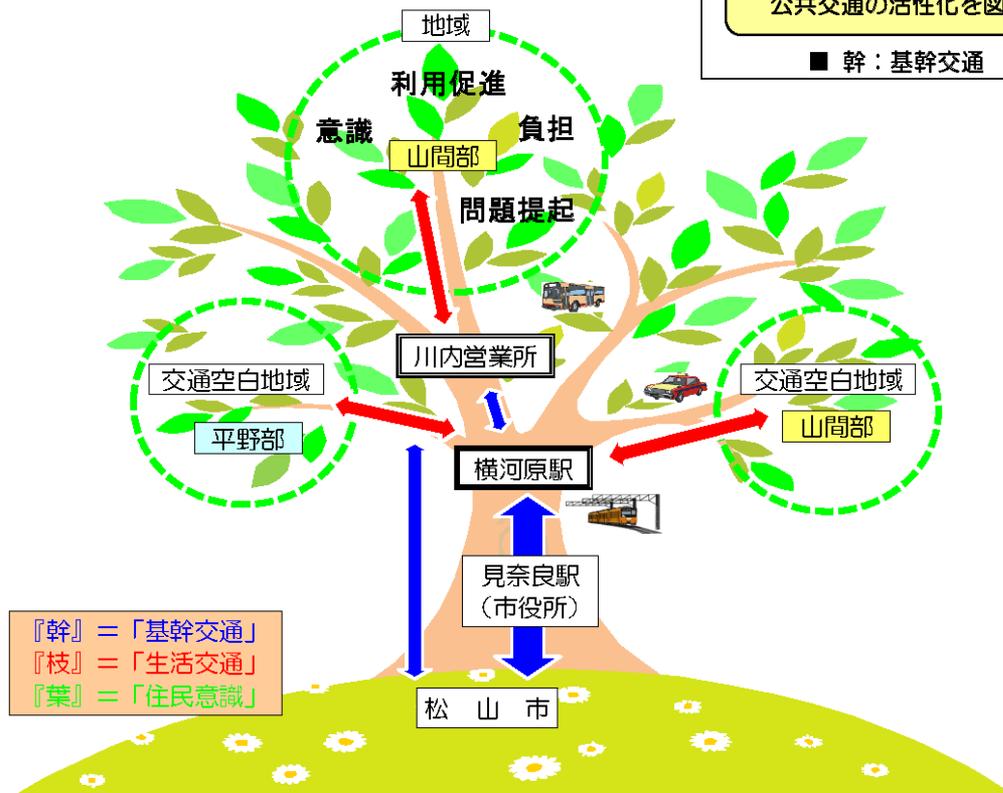


## 地域公共交通活性化の基本方針

各路線の有する役割を明確にし、市内の公共交通網を1本の“木”と考え、公共交通の活性化を図る

■ 幹：基幹交通 ■ 枝：生活交通 ■ 葉：住民意識

地域公共交通活性化の基本方針イメージ



※イメージ内にある地域は特定の地域をあらわしたものではありません。

# 東温市地域公共交通総合連携計画の目標

## 地域公共交通総合連携計画の目標

- ① 幹：基幹交通と生活交通の連携強化
  - ・将来的に高齢化が進むなか、地域の「足」としての公共交通の必要性は高い。東温市の公共交通の特徴である、「幹線」と「支線」の連携・利便性向上を図ることにより、市民に満足していただける公共交通体系を目指すものとする。
- ② 枝：各地域に適した公共交通サービスの提供
  - ・路線バス利用者は少ないものの、バス路線が廃止されると現在のバス利用者の通院や買物などを目的とした移動が困難になることから、各地域の移動手段の確保を前提に、地域のライフスタイルやニーズに応じた公共交通サービスの提供を目指すものとする。
- ③ 葉：公共交通の重要性の意識の醸成
  - ・東温市には鉄道や路線バスが運行されているにもかかわらず、鉄道や路線バスの現状や活性化に向けた取り組みの周知が不十分であるため、積極的な情報提供の推進による地域住民の公共交通の意識の醸成を図り、自動車依存型の社会からの脱却、公共交通利用促進の正のスパイラル化による持続可能な公共交通体系の構築を目指すものとする。



## サービス供給目標

目標Ⅰ	<b>■ 結節点における乗り継ぎの満足度の向上</b> <b>【検証方法】</b> 交通結節点でのアンケート調査 ・乗り継ぎの満足度 など
目標Ⅱ	<b>■ 山間部における路線バスの利便性向上</b> <b>【検証方法】</b> 住民へのアンケート調査 ・公共交通利用の満足度(運行時刻・運行本数) バス路線の乗降客数調査 など
目標Ⅲ	<b>■ 公共交通マップの配布等による公共交通に対する認知度・関心度の向上</b> <b>【検証方法】</b> 住民へのアンケート調査 ・公共交通の認知度 ・外出時の移動手段の分担率 ・公共交通利用での外出頻度 など

# 目標と事業の概要

目標		事業概要
幹	基幹交通と生活交通の連携強化	交通結節点の機能強化(横河原駅) : 駅前広場車両進入路の確保、利用動線の整理
		乗り継ぎ環境の改善(川内営業所) : 交流機能を持つ待合空間としての活用
枝	各地域に適した公共交通サービスの提供	定時定路線運行の維持
		利用しやすい路線・ダイヤの設定(山間部) : 運行ダイヤ見直し・増便、新規路線(上林線)等
		利用しやすい車両の導入 : 低床バスの導入、小型バスの導入等
		市内循環バスの検討
葉	公共交通の重要性の意識の醸成	公共交通に関する情報の提供: 公共交通マップの作成・配布等
		公共交通利用のキッカケの提供: 交通まちづくり学習の実施、バス試乗会イベントの実施等
		マイレール・マイバス意識の醸成 : 地域児童の絵画の車内掲示、サポーター制度の導入、地域ボランティアによる美化清掃等

# 目標と事業実施状況一覧

	目標	事業概要	実施内容
幹	基幹交通と生活交通の連携強化	<b>交通結節点の機能強化</b> (横河原駅) ・駅前広場車両進入路の確保 ・利用動線の整理	・駅前広場のロータリー化 平成23年9月30日完成 ・駅舎のバリアフリー化 平成28年2月末供用開始予定 ・横河原駅周辺の整備 平成27～28年実施
		<b>乗り継ぎ環境の改善</b> (川内営業所) ・交流機能を持つ待合空間としての活用	川内バスターミナル新築(平成24年1月) ・待合室の整備 ・多目的トイレの設置 ・木製ベンチの設置
枝	各地域に適した公共交通サービスの提供	<b>定時定路線運行の維持</b>	平成23年10月から山間路線の試験運行開始 その後、活性化プランで評価・見直しのフローを作成し、継続的な見直し
		<b>利用しやすい路線・ダイヤの設定</b> (山間部) ・運行ダイヤ見直し・増便、新規路線(上林線)等	
		<b>利用しやすい車両の導入</b> ・低床バスの導入、小型バスの導入等	試験運行にあわせ、ノンステップバス導入
		<b>市内循環バスの検討</b>	平成23年度: 市内循環バスについて検討する 市民参加のワークショップを開催(全7回)

# 整備方針と事業実施状況一覧

	事項	事業概要	実施内容
葉	公共交通の重要性の意識の醸成	公共交通に関する情報の提供： 公共交通マップの作成・配布等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①平成24年2月「東温市公共交通マップ」作成・配布（5,000部）</li> <li>②平成26年10月「東温市公共交通便利帳」作成・配布（15,000部）</li> </ul>
		公共交通利用のキッカケの提供： 交通まちづくり学習の実施、 バス試乗会イベントの実施等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①平成23年度               <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年2月から広報とうおんに「公共交通ニュース」を連載開始</li> </ul> </li> <li>②平成24年度               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生バスの絵コンテスト</li> <li>・小学生エコ交通まちづくり学習</li> <li>・路線バスの乗車体験イベント</li> </ul> </li> <li>③平成25年度～               <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの乗り方教室の実施</li> </ul> </li> <li>④平成26年度               <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通まちづくりワークショップ（全2回）</li> <li>・地域のおでかけ手段を考える勉強会</li> <li>・住民主体の取り組みを考える勉強会</li> </ul> </li> </ul>
		マイレール・マイバス意識の醸成 ・地域児童の絵画の車内掲示、 サポーター制度の導入、 地域ボランティアによる美化清掃等	<p>平成24年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月～4月：バスの絵コンテスト入賞作品の車内展示</li> </ul> <p>平成26年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月：バス応援団認定制度の創設</li> </ul>

## ■ 交通結節点の機能強化(横河原駅)

### ● 実施事業

- ① 駅前広場のロータリー化  
＞ 平成23年9月30日完成
- ② 駅舎のバリアフリー化(伊予鉄道)  
＞ 平成28年2月末 供用開始予定
- ③ 駅周辺整備(東温市)  
＞ 平成27～28年度実施



### ● 事業の評価

計画に基づき事業が実施されている。

横河原駅前広場

## ■ 乗り継ぎ環境の改善（川内営業所）

### ● 実施事業

#### ① 川内バスターミナル新築（平成24年）

- 待合室の整備
- 多目的トイレの設置
- 木製ベンチの設置



### ● 事業の評価

- 計画に基づき事業が実施されている。

## ② 枝 各地域に適した公共交通サービスの提供

■ 定時定路線運行の維持

■ 利用しやすい路線・ダイヤの設定(山間部)

### ● 実施事業

平成23年10月

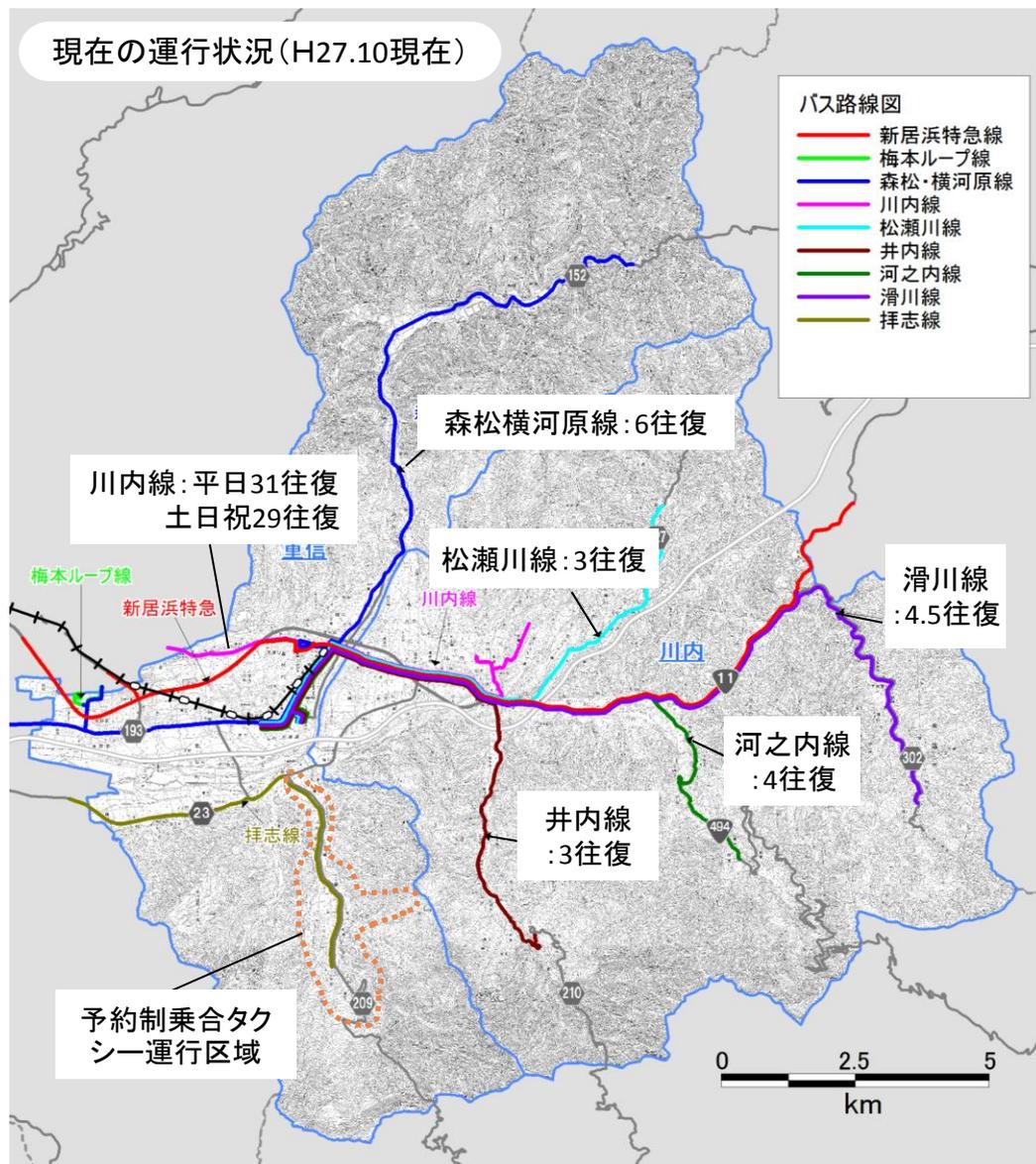
山間路線の試験運行開始

- ・運行ダイヤ見直し
- ・増便
- ・新規路線(上林線) 等



平成26年2月

活性化プランで評価・見直しフローを作成してPDCAサイクルで継続的な見直し



## ② 枝

# 各地域に適した公共交通サービスの提供

		H21年5月～H23年9月	H23年10月～H26年9月
川内線	運行日	毎日	毎日
	運行便数	【平】川内方面発29便/川内方面行き32便 【土】川内方面発27便/川内方面行き29便 【日祝】川内方面発24便/川内方面行き25便	【平】川内方面発30便/川内方面行き32便 【土】川内方面発28便/川内方面行き30便 【日祝】川内方面発27便/川内方面行き28便
	運行内容		・さくらの湯発着便の増便
滑川線	運行日	月～土曜日	月～土曜日
	運行便数	【平】海上発5便/海上着4便 【土】海上発4便/海上着3便	【平土】海上発5便/海上着4便
	運行内容		・東温市役所発着便の新設 ・土曜日の運行便数増
河之内線	運行日	月～土曜日	月～土曜日
	運行便数	【平土】白猪滝口発4便/白猪滝口着3便	【平土】白猪滝口発5便/白猪滝口着4便
	運行内容		・東温市役所発着便の新設 ・運行便数増
松瀬川線	運行日	月～金曜日	月～土曜日
	運行便数	【平】松瀬川発2便/松瀬川着2便	【平土】松瀬川発4便/松瀬川着4便
	運行内容		・東温市役所発着便の新設 ・土曜日の運行開始 ・運行便数増
井内線	運行日	月～土曜日	月～土曜日
	運行便数	【平土】井内北間発4便/井内北間着4便	【平土】井内北間発5便/井内北間着5便
	運行内容		・東温市役所発着便の新設 ・運行便数増
森松 横河原線	運行日	毎日	毎日
	運行便数	【平】木地発6便/森松発6便 【土日祝】木地発4便/森松発4便	【平】木地発6便/森松発6便 【土日祝】木地発4便/森松発4便
	運行内容		
上林線	運行日	-	新設 ・運行便数: 上林発4便/上林着4便 ・運行日: 月～土曜日

◀ 山間路線の運行内容

## ■ 市内循環バスの検討

### ● 実施事業

平成23年度に市内循環バスについて検討する  
市民参加のワークショップを開催(全7回)



### ● 事業の評価

検討の結果、循環バスの導入は見送り、既存路線のネットワーク化を図っていく。

#### ■ 路線バス見直しのフロー

##### 1. 現況調査による路線評価

- ・利用状況調査(1便当たり平均利用者数)／通学利用の状況／赤字の状況 等
- ・バス事業者の意向調査(路線廃止／サービス変更)

##### 2. 地域での意見交換

- ・路線廃止・サービス変更について
- ・新たなおでかけ手段について

##### 3. 新たなおでかけ手段構築

- ・サービス内容／水準 等

##### 4. 新たなおでかけ手段サービス開始

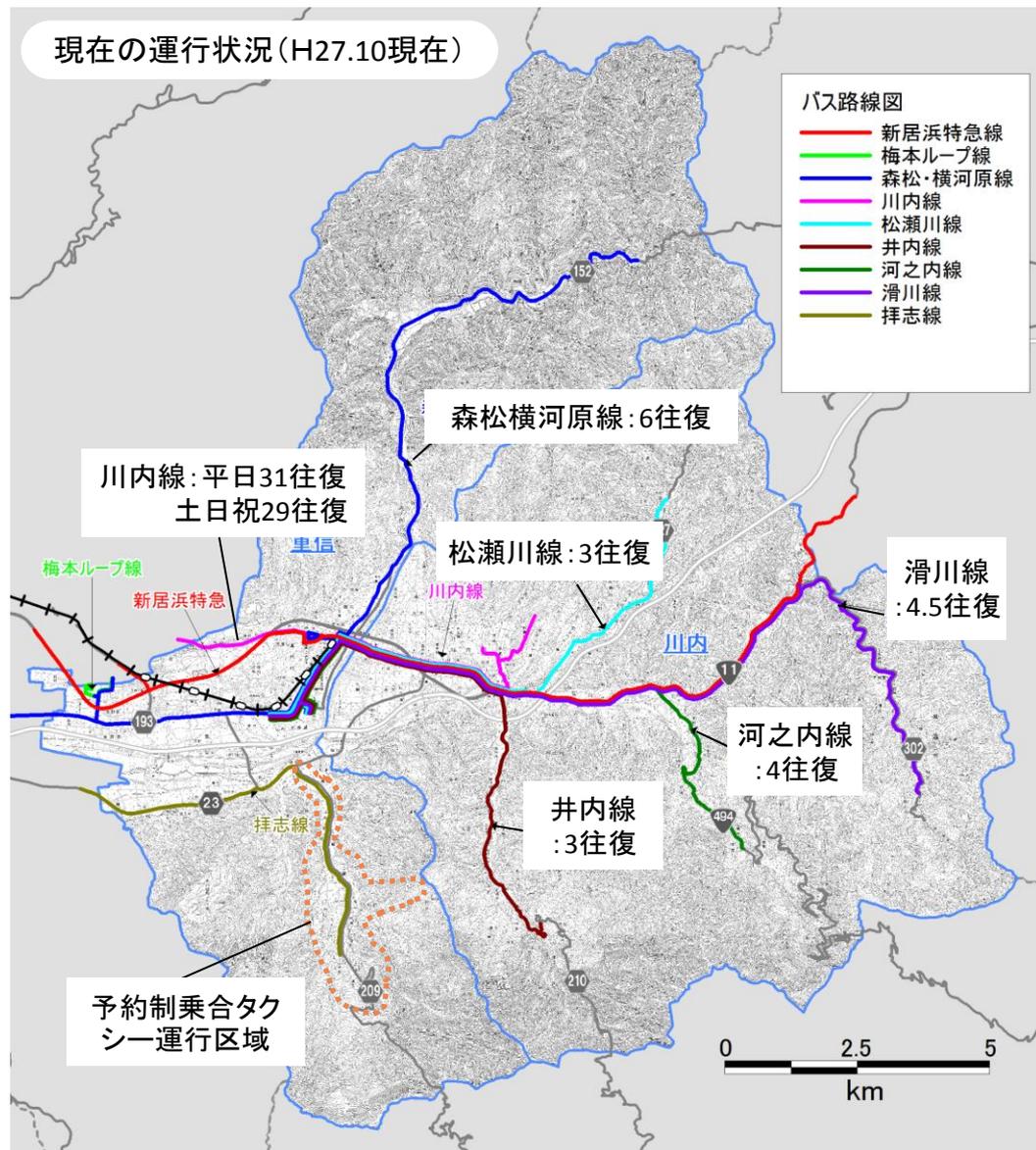
## ② 枝 各地域に適した公共交通サービスの提供

活性化プランでの実施事業

山間地域のバス路線の再編

### 再編後の公共交通網 (平成26年10月～)

山間路線において利用状況に応じて運行内容の見直しの実施  
(利用が非常に少ない便の減便)



# ② 枝

# 各地域に適した公共交通サービスの提供

活性化プランでの実施事業

山間地域のバス路線の再編

## 再編後の公共交通網

		H21年5月～H23年9月	H23年10月～H26年9月	H26年10月～
川内線	運行日	毎日	毎日	毎日
	運行便数	【平】川内方面発29便/川内方面行き32便 【土】川内方面発27便/川内方面行き29便 【日祝】川内方面発24便/川内方面行き25便	【平】川内方面発30便/川内方面行き32便 【土】川内方面発28便/川内方面行き30便 【日祝】川内方面発27便/川内方面行き28便	【平】川内方面発30便/川内方面行き32便 【土】川内方面発28便/川内方面行き30便 【日祝】川内方面発27便/川内方面行き28便
	運行内容		・さくらの湯発着便の増便	・湯谷口系統の廃止 ・川内グリーンタウン系統: さくらの湯經由なし
滑川線	運行日	月～土曜日	月～土曜日	月～金曜日
	運行便数	【平】海上発5便/海上着4便 【土】海上発4便/海上着3便	【平土】海上発5便/海上着4便	【平】海上発5便/海上着4便
	運行内容		・東温市役所発着便の新設 ・土曜日の運行便数増	・土曜日運休
河之内線	運行日	月～土曜日	月～土曜日	月～金曜日
	運行便数	【平土】白猪滝口発4便/白猪滝口着3便	【平土】白猪滝口発5便/白猪滝口着4便	【平】白猪滝口発4便/白猪滝口着4便
	運行内容		・東温市役所発着便の新設 ・運行便数増	・土曜日運休 ・平日減便
松瀬川線	運行日	月～金曜日	月～土曜日	月～金曜日
	運行便数	【平】松瀬川発2便/松瀬川着2便	【平土】松瀬川発4便/松瀬川着4便	【平】松瀬川発3便/松瀬川着3便
	運行内容		・東温市役所発着便の新設 ・土曜日の運行開始 ・運行便数増	・土曜日運休 ・平日減便
井内線	運行日	月～土曜日	月～土曜日	月～金曜日
	運行便数	【平土】井内北間発4便/井内北間着4便	【平土】井内北間発5便/井内北間着5便	【平】井内北間発3便/井内北間行き3便
	運行内容		・東温市役所発着便の新設 ・運行便数増	・土曜日運休 ・平日減便
森松 横河原線	運行日	毎日	毎日	毎日
	運行便数	【平】木地発6便/森松発6便 【土日祝】木地発4便/森松発4便	【平】木地発6便/森松発6便 【土日祝】木地発4便/森松発4便	【平】木地発6便/森松発6便 【土日祝】木地発4便/森松発4便
	運行内容			
上林線	運行日	-	新設 ・運行便数: 上林発4便/上林着4便 ・運行日: 月～土曜日	路線バスの運行終了 予約制のりあいタクシーの導入

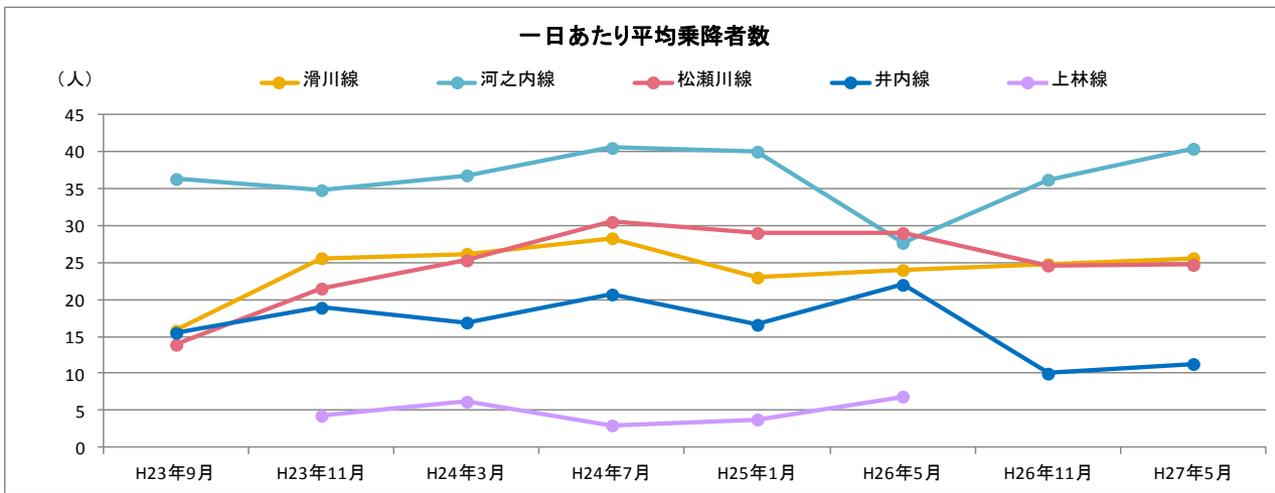
# ② 枝 各地域に適した公共交通サービスの提供

活性化プランでの実施事業

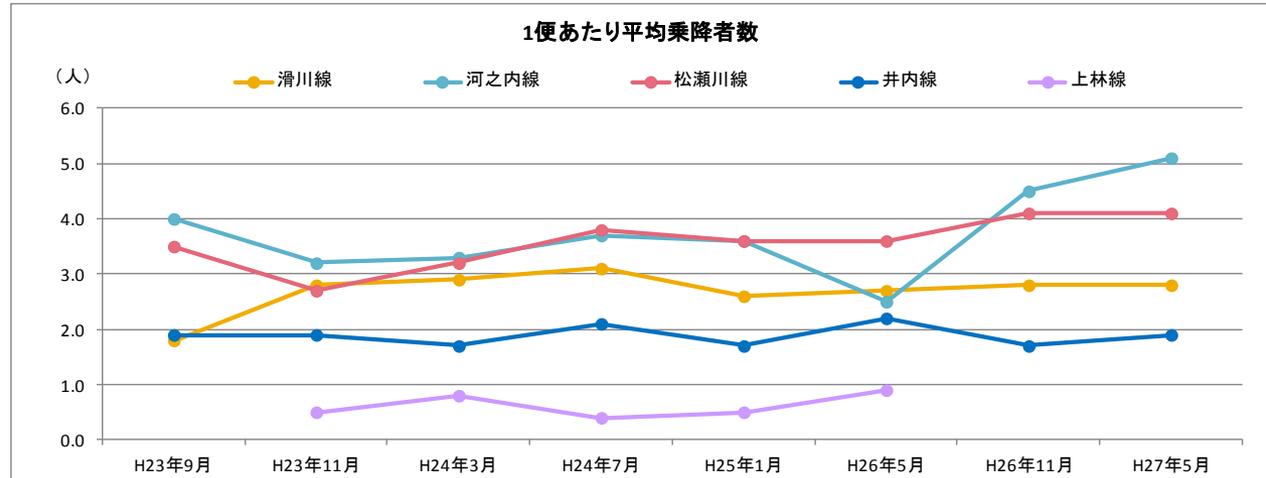
山間地域のバス路線の再編

## 事業の評価

### ● 路線の利用者数



### ● 1便あたり平均利用者数



※上林線はH23年10月～H26年10月まで運行

#### ■ 事業の評価(まとめ)

- 試験運行を実施した。
- 利用状況、スクールバス利用等の状況に基づき、バス路線見直しの「基本的な考え方」「見直しフロー」「バス廃止後のおでかけ交通構築方針」を策定し、再編を実施した。
- 今後も見直しフローによる継続的な見直しを行うものとしている。

# ③ 葉 公共交通の重要性の意識の醸成

## ■ 公共交通に関する情報の提供：公共交通マップの作成・配布等

### ● 実施事業

- ・平成24年 2月「東温市公共交通マップ」作成・配布(5,000部)
- ・平成26年10月「東温市公共交通便利帳」作成・配布(15,000部)



H23年度作成：東温市公共交通マップ(表面)

H26年度作成：東温市公共交通便利帳(表紙・乗り案内)

### ● 事業の評価

わかりやすいマップ等の情報提供冊子を定期的に作製し、配布を行った。

# 公共交通利用のキッカケの提供： 交通まちづくり学習の実施、バス試乗会イベントの実施

## ● 実施事業

### 【平成23年度】

- ・平成24年2月から広報とうおんに「公共交通ニュース」を連載開始
- ・東温市公共交通マップの作成・配布

### 【平成24年度】

- ・市内小学生を対象としたバスの絵コンテスト
- ・市内小学生を対象としたエコ交通まちづくり学習
- ・路線バスの乗車体験イベント(継続実施)



▲ 広報とうおんへの掲載例



## 【平成25年度～】

- ・バスの乗り方教室の実施

## 【平成26年度】

- ・交通まちづくりワークショップ(全2回)の開催
- ・地域のおでかけ手段を考える勉強会の開催
- ・住民主体の取り組みを考える勉強会の開催



## ● 事業の評価

各種イベントを継続的に実施している。

## ■ マイレール・マイバス意識の醸成等 : 地域児童の絵画の車内掲示、サポーター制度の導入、 地域ボランティアによる美化清掃 等

### ● 実施事業

- ・市内小学生を対象としたバスの絵コンテスト  
入賞作品の車内展示(平成24年度)
- ・山間部ワークショップの開催  
(滑川、河之内、奥松瀬川、西谷、上林の5地区)
- ・公共交通活性化に取り組む地域団体への助成制度の創設
- ・バス応援団認定制度の創設



### ● 事業の評価

- ・ボランティアの美化清掃以外は、概ね事業の実施を行った。
- ・市民団体との協働を進めた。



# サービス供給目標

サービス供給目標	
目標Ⅰ	結節点における乗り継ぎの満足度の向上
目標Ⅱ	山間部における路線バスの利便性向上
目標Ⅲ	公共交通マップの配布等による公共交通に対する認知度・関心度の向上

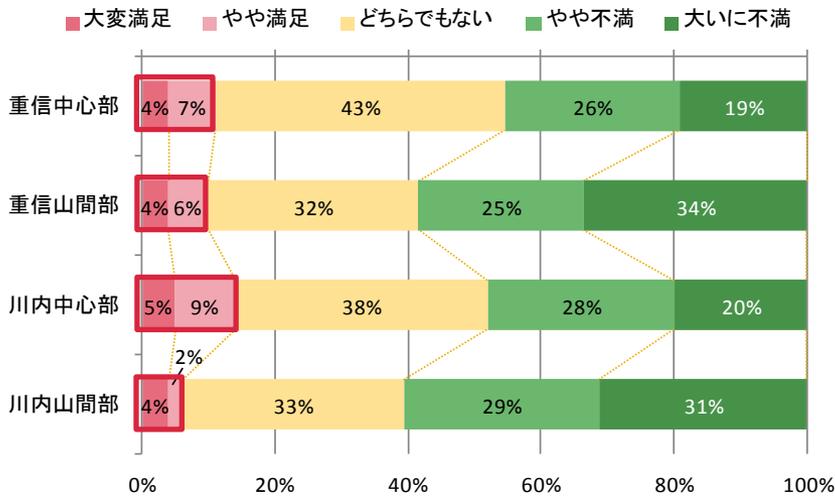
## ■ 検証方法

交通結節点でのアンケート調査(乗り継ぎの満足度 など)

## ■ 検証結果

### H22

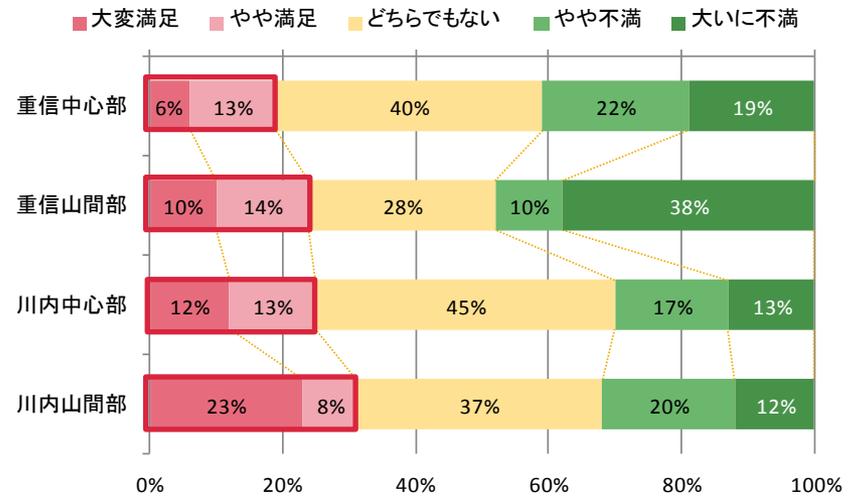
H22 移動に関するアンケート調査 (H22.9実施)  
(路線バスの乗り継ぎの満足度)



重信中心部: 大変満足4%、やや満足7%  
 重信山間部: 大変満足4%、やや満足7%  
 川内中心部: 大変満足5%、やや満足9%  
 川内山間部: 大変満足4%、やや満足2%

### H24

H24 市内バスの取り組みに関するアンケート調査 (H24.9実施)  
(路線バスの乗り継ぎの満足度)

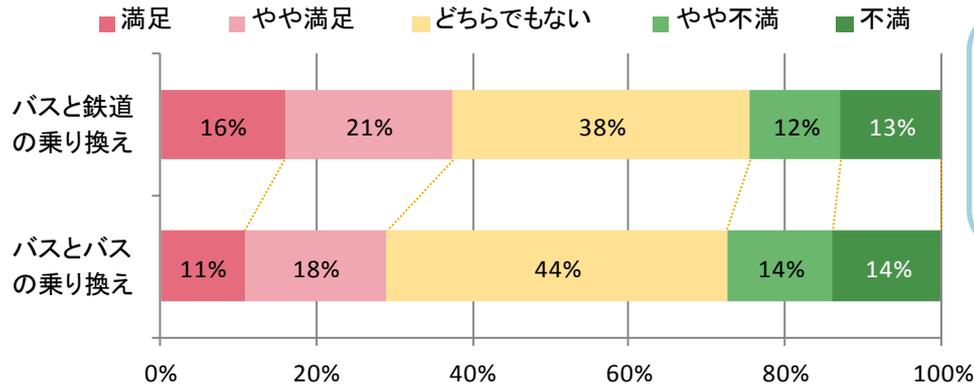


重信中心部: 大変満足 6%、やや満足13%  
 重信山間部: 大変満足10%、やや満足14%  
 川内中心部: 大変満足12%、やや満足13%  
 川内山間部: 大変満足23%、やや満足 8%

## H25

### H25 山間部を対象とした住民アンケート調査 (路線バス乗り換えの満足度)

(参考)  
(H25.8実施)



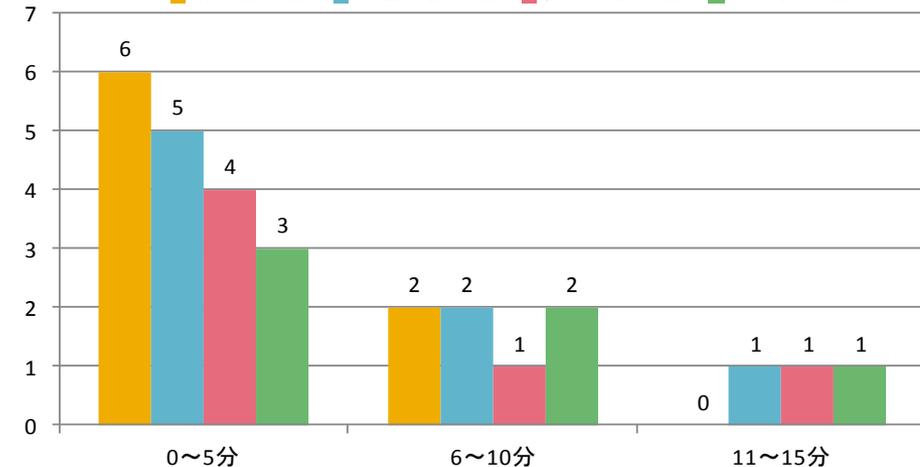
バスと鉄道の乗り換え：満足16% やや満足21%  
バスとバスの乗り換え：満足11% やや満足18%

※山間部の世帯内で移動に不便を感じている人が回答  
※選択項目の「わからない」を除いた集計

### 横河原駅前バス停～横河原駅での 各山間路線 ⇄ 鉄道横河原線の乗換時間

(便)

■ 滑川線(8便) ■ 河之内線(8便) ■ 松瀬川線(5便) ■ 井内線(6便)



## 目標1の評価

全ての地域で満足度が向上しており、事業の成果として評価できる。

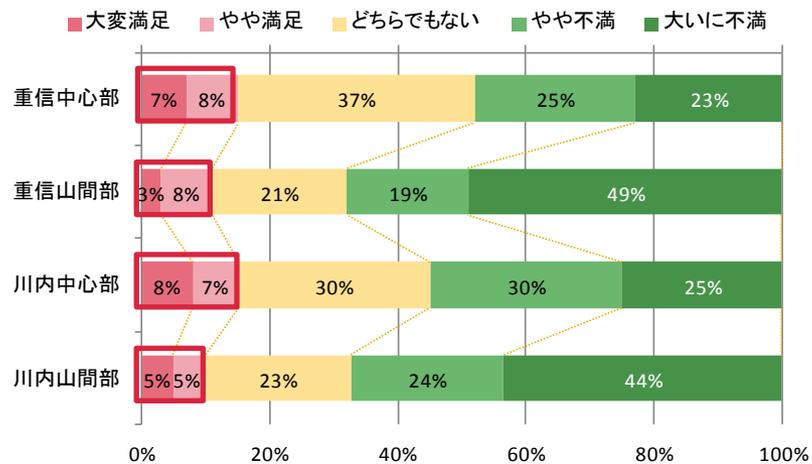
## ■ 検証方法

- 住民へのアンケート調査(公共交通利用の満足度:運行本数)
- バス路線の乗降客数調査

## ■ 検証結果

### H22

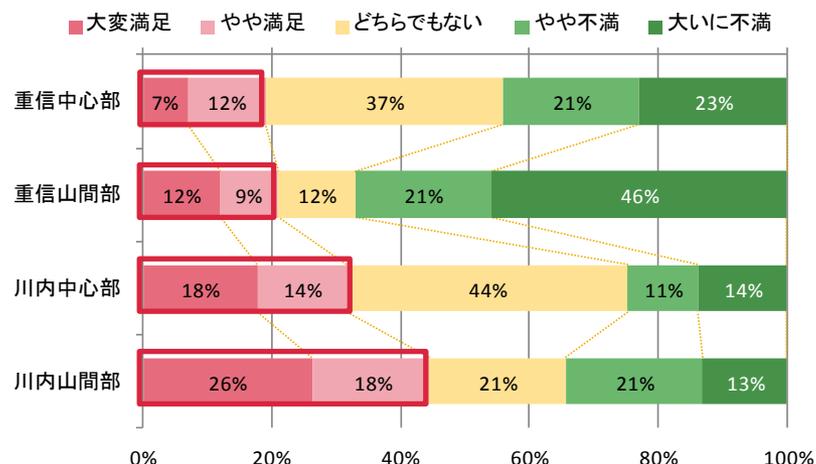
H22 移動に関するアンケート調査 (H22.9実施)  
(運行本数の満足度)



重信中心部: 大変満足7%、やや満足8%  
 重信山間部: 大変満足3%、やや満足8%  
 川内中心部: 大変満足8%、やや満足7%  
 川内山間部: 大変満足5%、やや満足5%

### H24

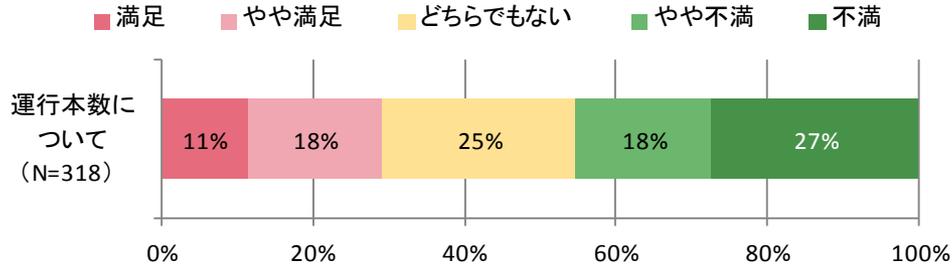
H24 市内バスの取り組みに関するアンケート調査 (H24.9実施)  
(運行本数の満足度)



重信中心部: 大変満足 7%、やや満足12%  
 重信山間部: 大変満足12%、やや満足 9%  
 川内中心部: 大変満足18%、やや満足14%  
 川内山間部: 大変満足26%、やや満足 18%

## H25

H25 山間部を対象とした住民アンケート調査 (H25.8実施)  
(運行本数の満足度) (参考)



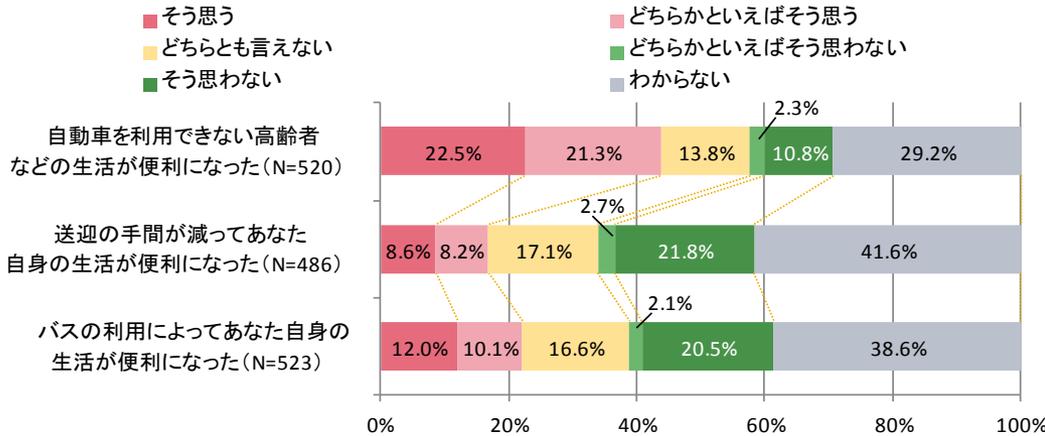
運行本数について: 満足11% やや満足18%

※山間部の世帯内で移動に不便を感じている人が回答

※選択項目の「わからない」を除いた集計

## H25

H25 山間部を対象とした住民アンケート調査 (H25.8実施)  
(路線バスの改善による生活の変化)



● 自動車を利用できない人の生活が便利になった: 43.8%

● 送迎の手間が減った: 16.8%

● 自分の生活が便利になった: 22.1%

※山間部の世帯内で移動に不便を感じている人が回答

## 目標2の評価

全ての地域で満足度が向上しており、事業の成果として評価できる。

## ■ 検証方法

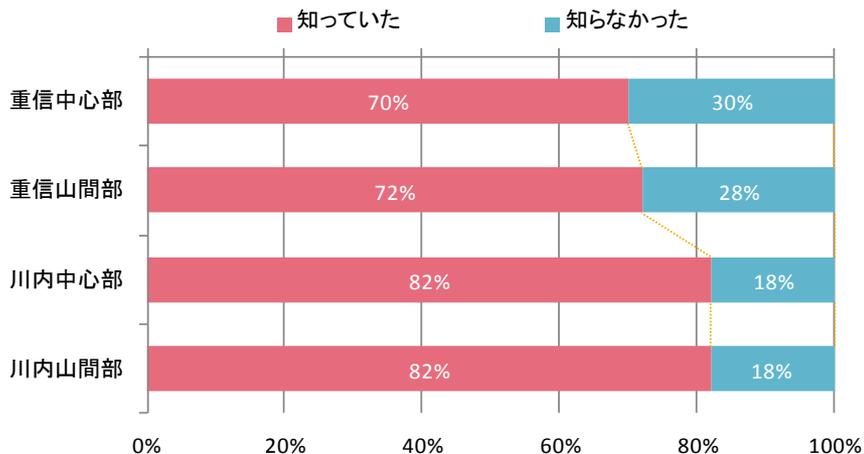
### ● 住民のアンケート調査

- ① 公共交通の認知度
- ② 外出時の移動手段の分担率
- ③ 公共交通利用での外出頻度

## ■ 検証結果

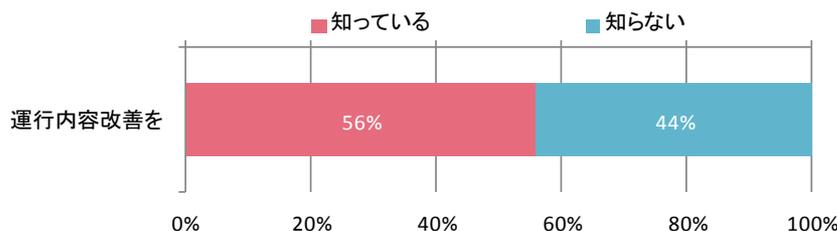
### ① 公共交通の認知度

**H24** H24 市内バスの取り組みに関するアンケート調査  
(市内バス路線の取り組みの認知度) (H24.9実施)



H25の調査は世帯内で移動に不便を感じている人が回答

**H25** H25 山間部住民アンケート調査  
(市内バス路線の運行内容改善への認知度)

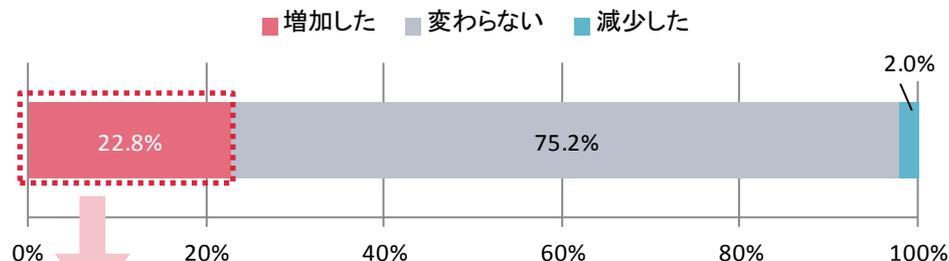


- ・市内バス路線の取り組みの認知度(H24)は重信地区に比べて川内地区の方が高くなった。
- ・運行内容改善への認知度(H25)は56%の人が知っていると回答した。

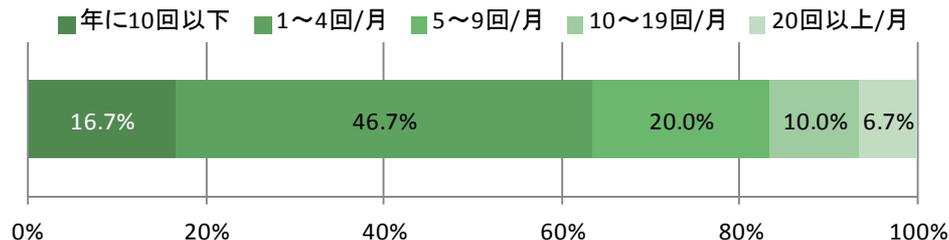
② 外出時の移動手段の分担率

H25

H25 山間部を対象とした住民アンケート調査  
(路線バス再編による外出頻度の変化)



H25 山間部を対象とした住民アンケート調査  
(路線バスの利用増加数)

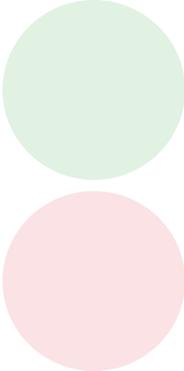


路線バス再編により外出頻度が増加した人：  
22.8%

※山間部の世帯内で移動に不便を感じている人が回答

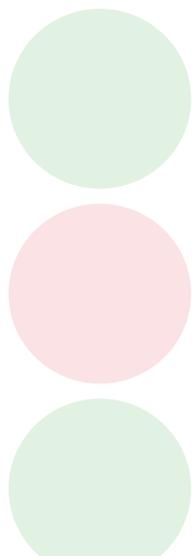
■ 目標3の評価

外出頻度が増加した人が22.8%と、路線バス再編、またそれにとまなう情報  
周知等による効果が認められた。

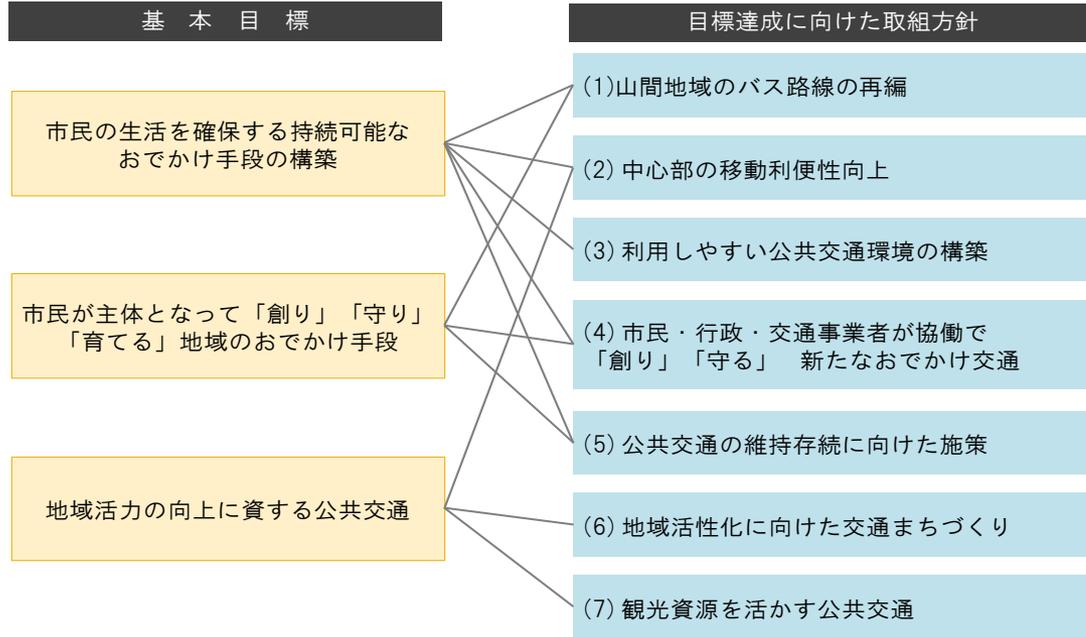


【 資 料 】

東温市地域公共交通活性化プラン  
の事業実施内容



# 東温市地域公共交通活性化プランの事業一覧



事業内容	目標達成に向けた取組方針						
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
① 山間地域のバス路線の再編	○			○			
② 拠点施設までの移動利便性向上		○				○	
③ 使いやすい公共交通利用促進冊子の作成			○				
④ 地域と協働でつくる待合環境			○				
⑤ 市民・行政・交通事業者が協働で「創り」「守り」「育てる」公共交通	○			○			
⑥ モビリティ・マネジメントの実施					○		
⑦ 拠点施設と連携した公共交通の魅力向上						○	
⑧ 観光アクセス交通としての公共交通の活用							○



# 使いやすい公共交通利用促進冊子 (利用促進・マップ・時刻表)の作成

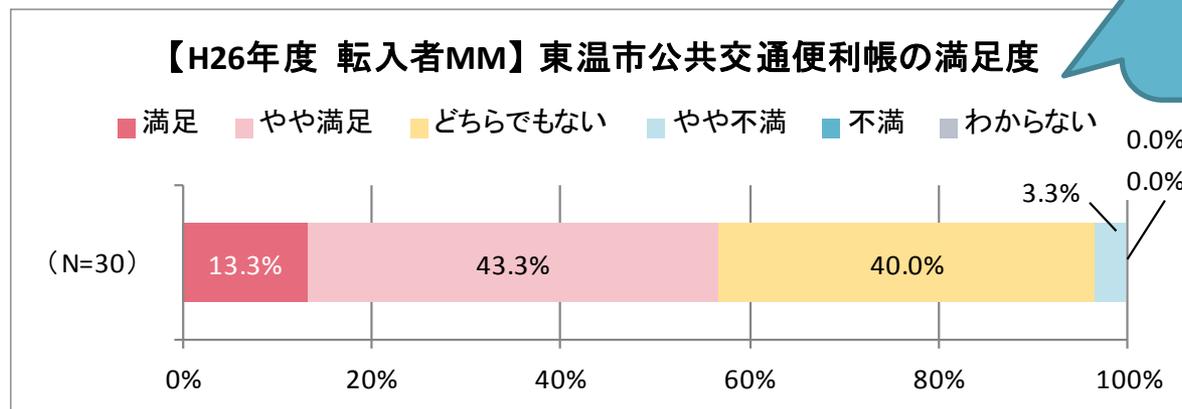
## 事業の評価

### 冊子の認知度

全戸に配布するとともに、主要拠点に配置

### 満足度

転入者アンケート結果



満足度  
(満足、やや満足を選択)  
56.6%

## 事業の評価(まとめ)

- 市内の公共交通情報をまとめた冊子を作成し、全戸に配布した。
- 転入者MMで活用し、有効性が確認できた。

## 4. 地域と協働でつくる待合環境

### ■ 事業内容

- 地域住民と協働でバス停へのベンチ設置  
⇒ 実施できていない。
- 周辺施設と協力して待合環境向上  
川上農協前バス停にベンチ2基設置  
(協力: 松山市農協川上支所・松山生協川上店)



### ■ 事業の評価(まとめ)

- 事業に広がりを持たせるために、モデル的な取り組みを検討する必要がある。

## 5. 市民・行政・交通事業者が協働で「創り」「守り」「育てる」公共交通

### ■ おでかけ手段構築に向けた地域住民との協働

- ・上林地区における「予約型乗合タクシー」導入に向けた座談会開催により運行サービスを検討
- ・井内地区でも同様に座談会開催⇒結果的にバス路線は存続

### ■ 市民自らが公共交通を守り育てる活動の支援

- ・市民の公共交通活性化の取り組みに対する助成を実施
- ・地域勉強会を開催

【平成26年度】

- ①交通まちづくりワークショップ(2回)
- ②地域のおでかけ手段を考える勉強会
- ③住民主体の取り組みを考える勉強会
- ④上林地区座談会の開催



### ● 事業の評価

助成制度、座談会開催、地域勉強会等を適切に開催し、地域公共交通活性化に市民を巻き込んだ動きを行うことができた。

# 6. モビリティ・マネジメントの実施

## ■ 転入者モビリティ・マネジメント

・転入者に対するMMを実施(平成26年)



ご自宅最寄り  
バス停は **野田一丁目バス停** です。伊予鉄道 路線バス(森松線河原線)「梅本ループ線」が運行  
駅は **牛淵団地前駅** です。伊予鉄道 郊外電車「横河原線」が運行

発行：東温市 発行内容：2014

**わが家の時刻表** 伊予鉄道 横河原線 **見奈良駅**  
平日 土日祝日別

種別	時刻	種別	時刻
36	07:41	36	27:42
07	03:16	37	03:16
08	03:33	47	03:33
09	02:17:32:47	09	03:18:33:48
10	02:17:32:47	10	03:18:33:48
11	02:17:32:47	11	03:18:33:48
12	02:17:32:47	12	03:18:33:48
13	02:17:32:47	13	03:18:33:48
14	02:17:32:47	14	03:18:33:48
15	02:17:32:47	15	03:18:33:48
16	02:17:32:47	16	03:18:33:48
17	02:17:32:47	17	03:18:33:48
18	02:17:32:47	18	03:18:33:48
19	02:17:32:47	19	03:18:33:48
20	02:17:32:47	20	03:18:33:48
21	04:00	21	04:00
22	11:41	22	27:33

発行：東温市 発行内容：2014年10月

**郊外電車・路線バスのおためし乗車券を贈呈します。**

ようこそ！東温市へ

この度は、「東温市へ転入される方への交通行動調査」にご協力いただきありがとうございます。お礼として「郊外電車・路線バスおためし乗車券」を贈呈いたします。

ぜひ一度、東温市の電車やバスを利用しておでかけしてみませんか？

本券券の発行・有効を禁止します

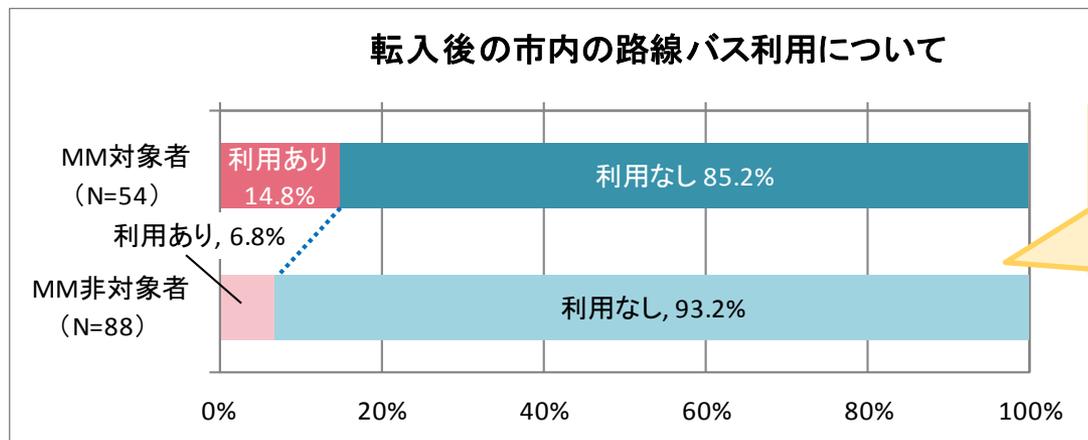
- 本券で伊予鉄道が運行する郊外電車と路線バス(交通料)で1回利用することができます。(※お一人様のみ)
- 切り取ってお持ちください。
- 郊外電車および路線バスでは使用できません。
- 他の方【郊外電車】お持ちの駅員に本券をお渡しください。【路線バス】お持ちの駅員に本券をお渡しの上、運賃額にお入れください。

【問合せ先】 月～金曜日 8:30～17:15  
東温市産業建設部まちづくり課都市計画課  
〒791-0292 東温市見奈良530-1  
TEL: 089-964-2001 (代表) FAX: 089-964-4447

使用可能期間 H26/10/6 ▶ H27/1/31  
発行：東温市

## ■ 事業の評価

### ● 利用率の違い (MM実施・未実施)



転入後に路線バスを利用した人  
MM対象者： 14.8%  
MM非対象者： 6.8%

### ● MM参加者数

平成25年10月～平成26年1月に東温市へ転入した152世帯

- MM実施することで公共交通サービスを知った上で交通行動の変容効果が確認できた。
- 継続的な取り組みとするために、関係部署を巻き込んで実施することが望ましい。

## ■ 住民モビリティ・マネジメント ・広報誌に公共交通情報を適宜掲載した

**公共交通ニュース** 試験運行終了後の取組みを検討しています  
まちづくり課 ☎964-4412

市内では現在、山間部のバス路線を中心に、試験運行として運行本数の増便、路線の新設を実施しています。  
この試験運行は来月3月末に終了することから、今年度、地域公共交通活性化協議会が中心となって路線バスの利用状況や住民アンケート等の調査を行い、試験運行後の計画となる、「地域公共交通活性化プラン」の策定に取り組んでいます。  
また、路線バス井内線・上林線沿線地域では、昨年11月から公共交通をテーマとした住民意見交換会を開催しています。



意見交換会の様子

**「地域公共交通活性化プラン」の基本的な考え方**

- 1 乗り合いがあってこそその路線バス**
  - ・1便あたりの利用者が1人を下回るバス路線は廃止や減便を早急に検討する。
  - ・利用の少ない区間や曜日ごとの運行を廃止する。
- 2 地域主体・地域負担・地域協働**

地域が主体となって取り組むことが必要である。
- 3 交通弱者への移動支援策の検討**

運転免許を持たない高齢者等を対象とする。

公共交通に関する皆さんの意見をお寄せください  
〒791-0292 東温市役所 まちづくり課 Eメール: machidukuri@city.toon.eh.jp

11 | 広報とうおん 2014.2

**公共交通ニュース**  
まちづくり課 ☎964-4412

**山間バス路線の変更内容をお知らせします**

試験運行の終了に伴い山間バス路線の運行内容を大幅に見直し、今年の10月1日にダイヤ改正を行います。市内バス路線での試験運行の取り組みは終わりますが、今後も利用状況を定期的に調査し、継続して見直しを行ってまいります。(路線バスの時刻表や運行状況については、伊予鉄道株式会社 自動車課☎948-3172にお問い合わせください。)

<変更内容>

路線名	運行区間		運行本数(平日)			主な変更点
			試験運行前	試験運行	10月以降	
清川線	海上～川内・横河原駅前	山間部発	5	5	5	○平日のみの運行
		山間部着	4	4	4	
河之内線	白猪滝口～横河原駅前・東温市役所	山間部発	5	6	4	○平日のみの運行 ○朝夕の便を減便
		山間部着	4	5	4	
川～横河原駅前		山間部発	2	4	3	○平日のみの運行
		山間部着	2	4	3	
北間～横河原駅前		山間部発	4	5	3	○平日のみの運行 ○10・11時台の便を1便に集約 ○朝夕の便を減便
		山間部着	4	5	3	

**タクシーの準備を進めています**

市民が主体となって「創り」「守る」地域のおでかけ手段として、10月タクシーの運行を開始します。このタクシーは、上林地区・下林地区区間と重信地区の主要施設を結ぶ運行を行うもので、東温市では初めての取り組みとなります。対象地区にお住まいの人には利用方法を掲載したチラシを配布しますので、是非ご利用ください。

2014.9

**公共交通ニュース**  
まちづくり課 ☎964-4412

みなで公共交通を応援しよう!  
～バス応援国認定制度スタート～

近年、公共交通利用の進み、それに伴い乗車バスに乗ったことがない子どもたちが増えていきます。そこで、東温市では、未来を担う子どもたちに公共交通を身近に感じてもらうことを目的に「バス応援国認定制度」を創設しました。今後は、路線バス体験教室に参加した子どもたちを応援国に認定し、公共交通を応援する取り組みを広げていきます。



応援国第1号は「いのどん」

13 | 広報とうおん 2014.6

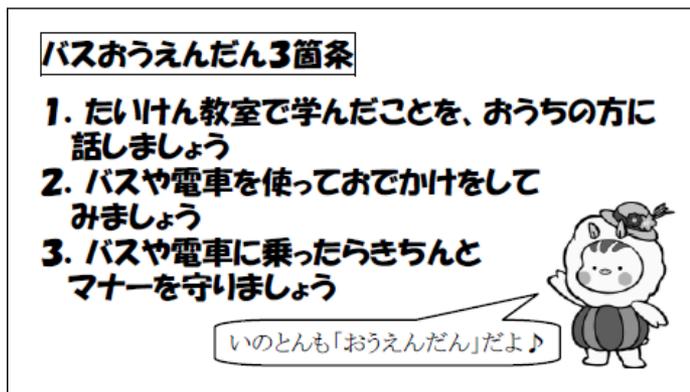
▲広報とうおんへの掲載例

## ■ 事業の評価

- 広報誌に継続的に公共交通に関するトピックを掲載することで市民に現在の取り組みを少しずつ知っていただくことができた。

## 子どもモビリティ・マネジメント

- ・「バス応援団認定制度」を創設し、子どもたちに公共交通に対して親近感を持ってもらうための取組みを推進した。



▲バスおうえんだん団員証

## 事業の評価

- 公共交通を考えるキッカケとなる取組み実施することができた。



### ■ 生涯学習やイベントとの連携

- ・イベント実施主体との連携による取り組みはなされていない。
- ・イベントではないが、上林地区予約制乗合タクシーで生涯学習の拠点である「中央公民館」に停留所設置

### ■ 事業の評価

- イベントや生涯学習実施主体との連携がなされておらず、具体的な事業が未実施である。
- 今後は、利用促進の一環として各種主体との連携を検討する必要がある。

## ■ 市内観光地への公共交通アクセス情報の提供

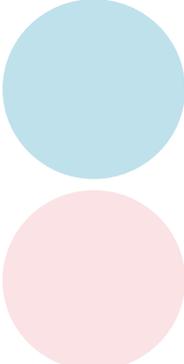
- ・市民主体の活動支援において、「みんなの公共交通を考える会」がお出かけ情報を取材し、ホームページに掲載
- ・横河原商工連盟が横河原商店街周辺の情報やイベント情報を掲載したマップを作成



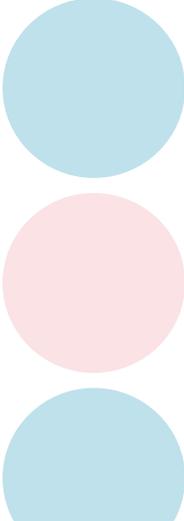
▲みんなの公共交通を考える会のホームページのお出かけ情報掲載のようす

## ■ 事業の評価

- 市民協働の枠組みを通して、情報提供を行うことができた。



# 東温市における 地域公共交通の現状について (連携計画策定以降)



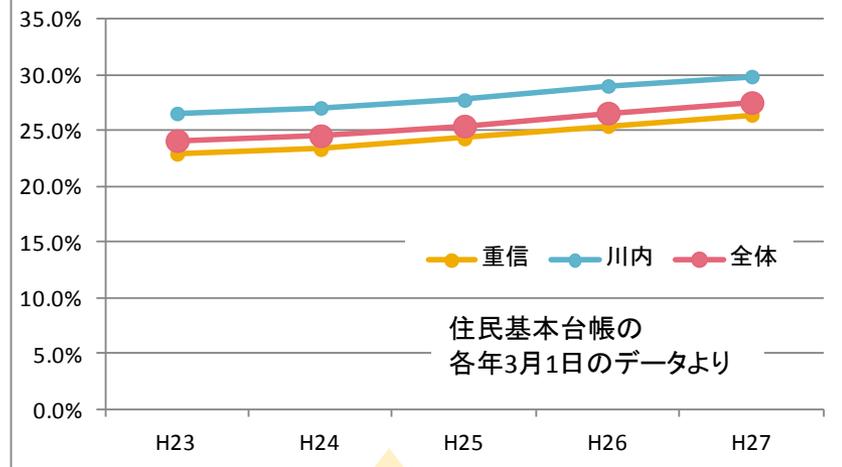
平成27年11月12日  
東温市地域公共交通活性化協議会

# ① 東温市の人口の推移

	行政区	人口					人口増減率 (H23:H27)
		H23	H24	H25	H26	H27	
重信地区	山之内	240	232	223	213	204	-15.0
	樋口	1,297	1,258	1,280	1,288	1,279	-1.4
	横河原	2,360	2,359	2,332	2,319	2,315	-1.9
	志津川	3,271	3,219	3,218	3,318	3,478	6.3
	西岡	801	827	825	811	769	-4.0
	見奈良	1,683	1,666	1,664	1,624	1,626	-3.4
	田窪	3,322	3,300	3,294	3,258	3,254	-2.0
	田窪団地	548	554	559	555	548	0.0
	牛瀨	1,911	1,947	1,972	1,966	1,961	2.6
	牛瀨団地	1,167	1,181	1,183	1,119	1,085	-7.0
	播磨台団地	292	296	290	289	304	4.1
	上樋	423	415	410	411	410	-3.1
	南野田	615	628	630	626	627	2.0
	北野田	1,787	1,787	1,776	1,749	1,755	-1.8
	北野台団地	156	154	160	157	164	5.1
	新村	548	540	540	542	521	-4.9
	上林	870	850	838	822	814	-6.4
	下林	1,498	1,502	1,497	1,479	1,456	-2.8
上村	486	485	477	475	471	-3.1	
小計	23,275	23,200	23,168	23,021	23,041	-1.0	
川内地区	河之内	656	634	605	578	564	-14.0
	則之内東	665	652	642	641	619	-6.9
	則之内西	1,026	1,024	1,009	1,002	999	-2.6
	井内	263	245	233	242	237	-9.9
	滑川	87	82	77	74	72	-17.2
	土谷	113	119	111	107	108	-4.4
	奥松瀬川	326	312	305	303	294	-9.8
	前松瀬川	324	323	319	317	315	-2.8
	横灘団地	800	792	793	797	809	1.1
	北方東	711	707	721	700	699	-1.7
	北方西	783	794	772	749	758	-3.2
	町東	1,197	1,242	1,230	1,227	1,220	1.9
	町西	1,245	1,244	1,266	1,258	1,246	0.1
	南方東	2,281	2,261	2,265	2,262	2,296	0.7
	南方西	822	823	822	829	812	-1.2
	小計	11,299	11,254	11,170	11,086	11,048	-2.2
	合計	34,574	34,454	34,338	34,107	34,089	-1.4

市の人口は平成21年までは増加傾向にあったが、以降は人口減少傾向に。  
平成23年と27年を比較した人口増減率ではマイナスとなっている行政区が多く見られる。

東温市の高齢化率の推移

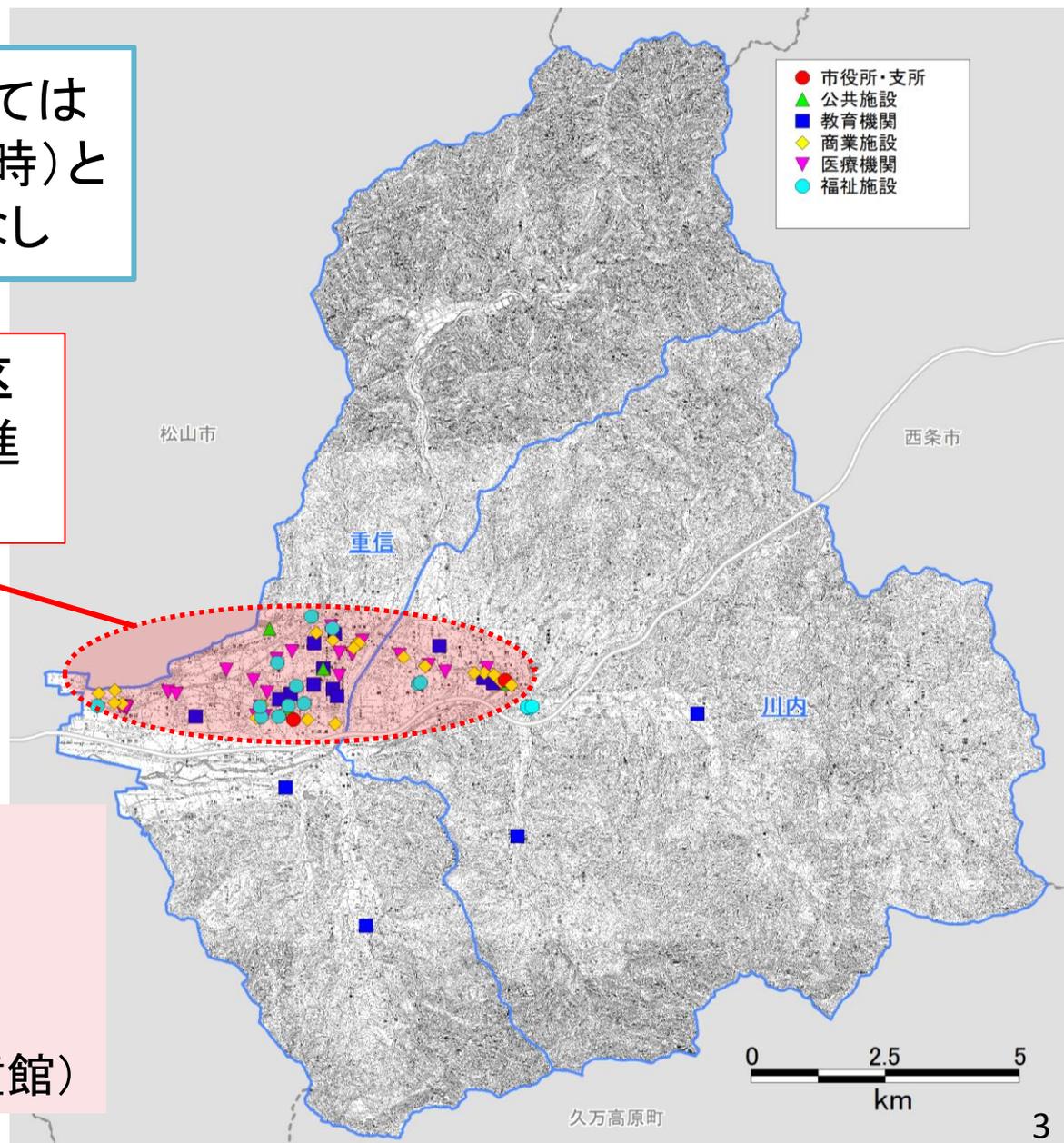


高齢化率も高くなっている。

## ② 東温市の機能集積状況

施設の集積状況については  
H22年度(連携計画策定時)と  
比べて大きな変化はなし

中心部では志津川土地区  
画整理事業等の整備が進  
んでいる

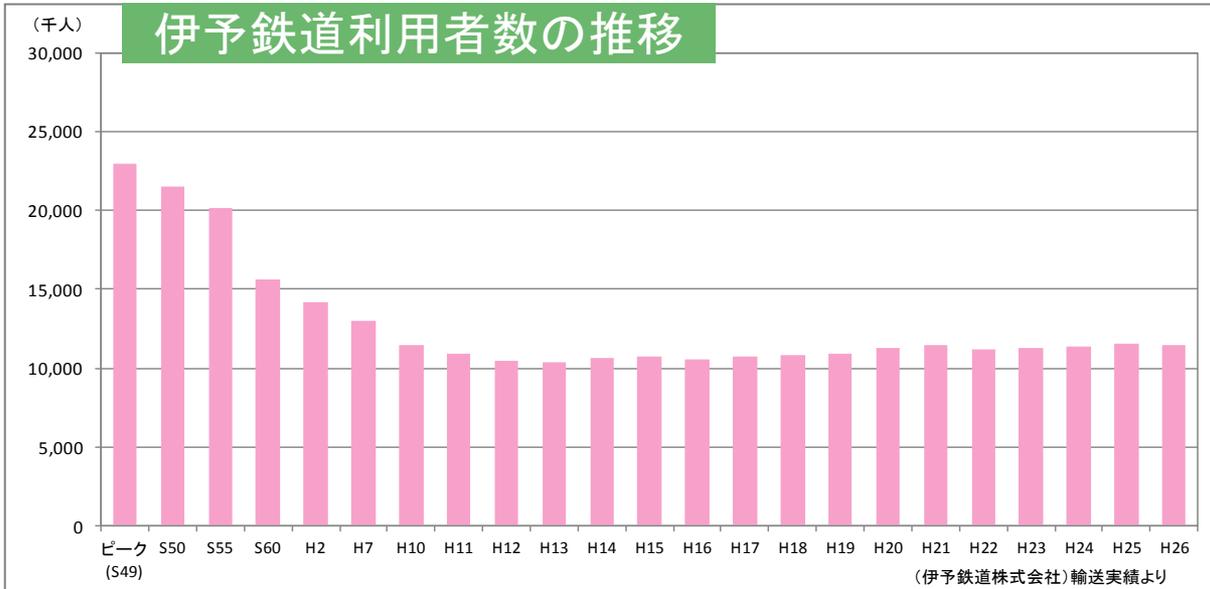


新たな施設

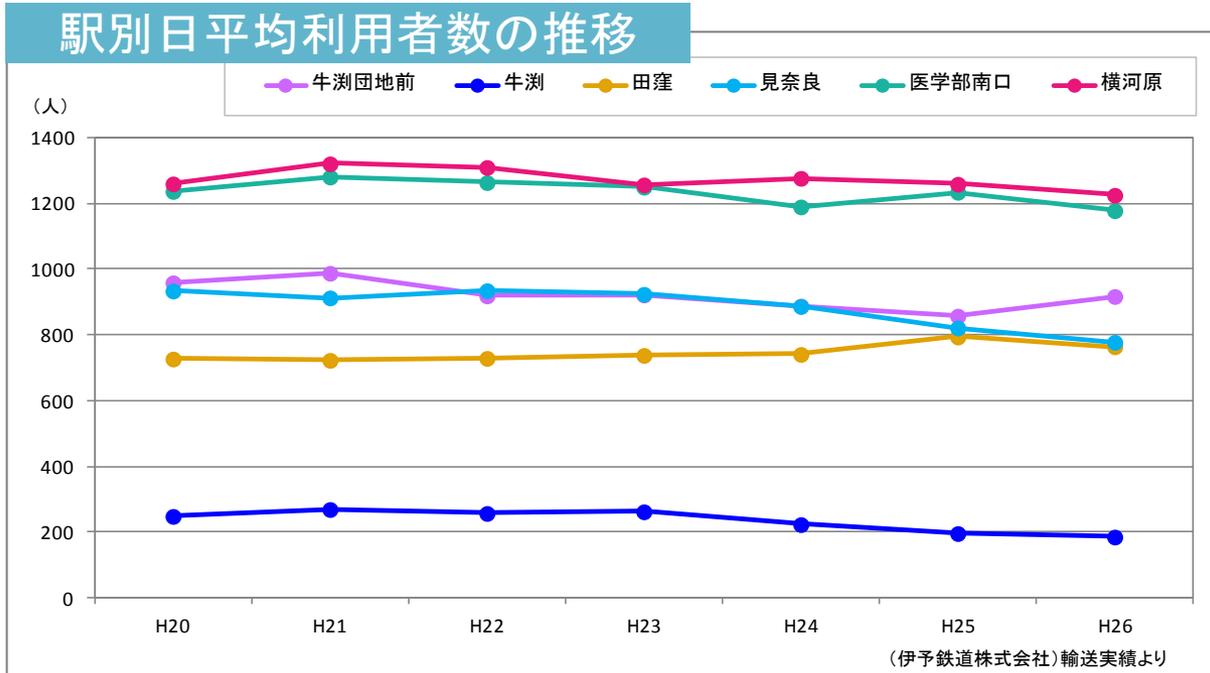
【H26】なめがわ清流の森  
(屋外活動研修施設)

【H27】よしいのこども館(児童館)

# ③ 東温市の鉄道利用状況



平成10年頃以降は利用者数はほぼ横ばい傾向となっている。



平成20年以降はほぼ横ばい傾向となっている。

# ④ 市内路線バスの運行内容の推移

		H21年5月～H23年9月	H23年10月～H26年9月	H26年10月～
川内線	運行日	毎日	毎日	毎日
	運行便数	【平】川内方面発29便/川内方面行き32便 【土】川内方面発27便/川内方面行き29便 【日祝】川内方面発24便/川内方面行き25便	【平】川内方面発30便/川内方面行き32便 【土】川内方面発28便/川内方面行き30便 【日祝】川内方面発27便/川内方面行き28便	【平】川内方面発30便/川内方面行き32便 【土】川内方面発28便/川内方面行き30便 【日祝】川内方面発27便/川内方面行き28便
	運行内容		・さくらの湯発着便の増便	・湯谷口系統の廃止 ・川内グリーンタウン系統: さくらの湯経由なし
滑川線	運行日	月～土曜日	月～土曜日	月～金曜日
	運行便数	【平】海上発5便/海上着4便 【土】海上発4便/海上着3便	【平土】海上発5便/海上着4便	【平】海上発5便/海上着4便
	運行内容		・東温市役所発着便の新設 ・土曜日の運行便数増	・土曜日運休
河之内線	運行日	月～土曜日	月～土曜日	月～金曜日
	運行便数	【平土】白猪滝口発4便/白猪滝口着3便	【平土】白猪滝口発5便/白猪滝口着4便	【平】白猪滝口発4便/白猪滝口着4便
	運行内容		・東温市役所発着便の新設 ・運行便数増	・土曜日運休 ・平日減便
松瀬川線	運行日	月～金曜日	月～土曜日	月～金曜日
	運行便数	【平】松瀬川発2便/松瀬川着2便	【平土】松瀬川発4便/松瀬川着4便	【平】松瀬川発3便/松瀬川着3便
	運行内容		・東温市役所発着便の新設 ・土曜日の運行開始 ・運行便数増	・土曜日運休 ・平日減便
井内線	運行日	月～土曜日	月～土曜日	月～金曜日
	運行便数	【平土】井内北間発4便/井内北間着4便	【平土】井内北間発5便/井内北間着5便	【平】井内北間発3便/井内北間行き3便
	運行内容		・東温市役所発着便の新設 ・運行便数増	・土曜日運休 ・平日減便
森松 横河原線	運行日	毎日	毎日	毎日
	運行便数	【平】木地発6便/森松発6便 【土日祝】木地発4便/森松発4便	【平】木地発6便/森松発6便 【土日祝】木地発4便/森松発4便	【平】木地発6便/森松発6便 【土日祝】木地発4便/森松発4便
	運行内容			
上林線	運行日	-	新設 ・運行便数: 上林発4便/上林着4便 ・運行日: 月～土曜日	路線バスの運行終了 予約制のりあいタクシーの導入

# ⑤ 現在の市内路線バス運行状況

現在の運行状況(H27.10現在)

【川内線】湯谷口系統廃止

【山間路線】土曜日運休

【河之内線、松瀬川線、井内線】減便

【上林線】路線バス運行は終了し、予約制乗合タクシーへ移行

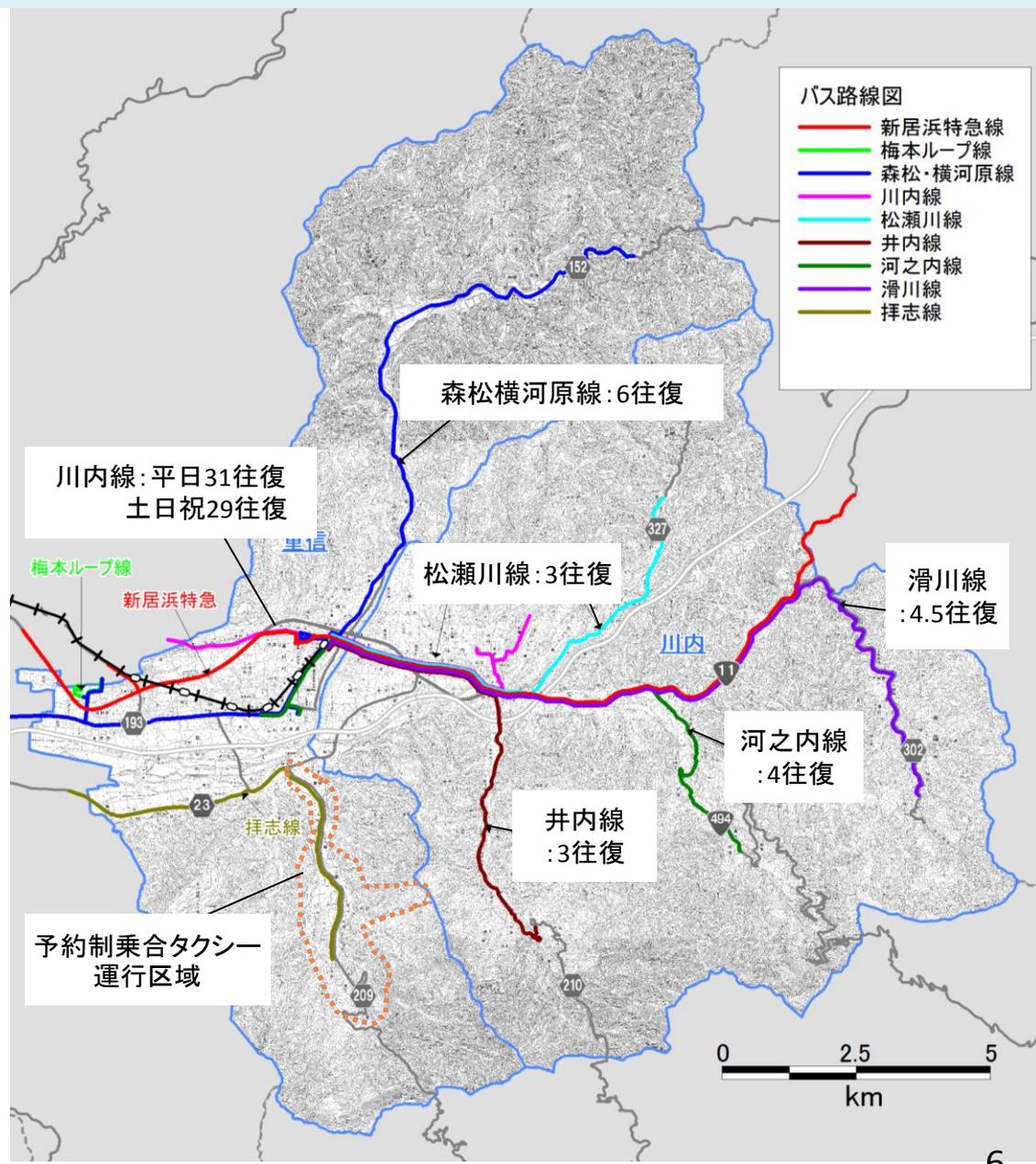
## 環境の変化

### ●川内バスターミナル新築

- ・待合環境整備
- ・多目的トイレ設置
- ・木製ベンチ設置

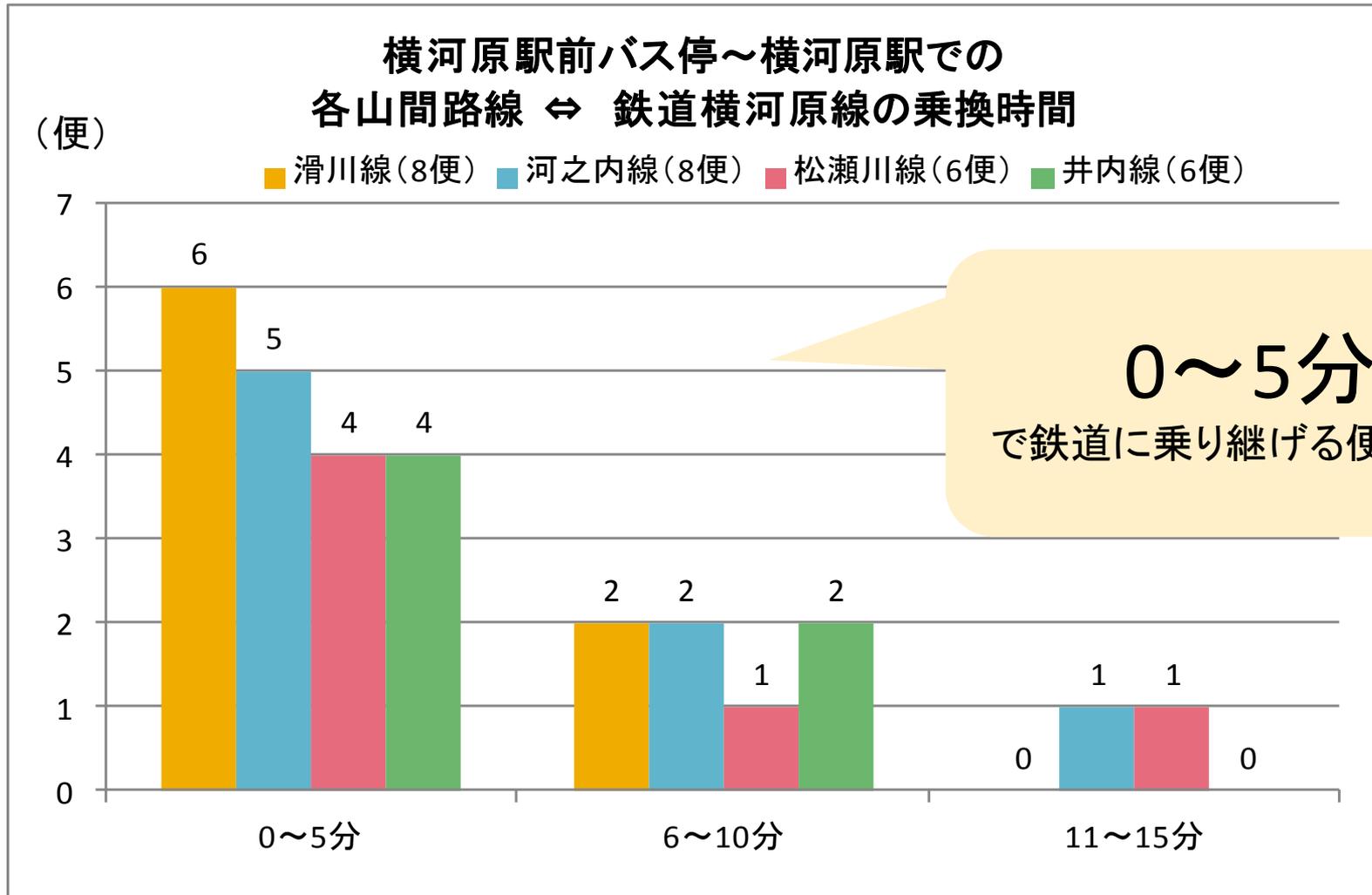
### ●横河原駅

- ・駅前ロータリー化
- ・駅舎バリアフリー化(H28.2~)
- ・駅周辺整備(H27~28実施)



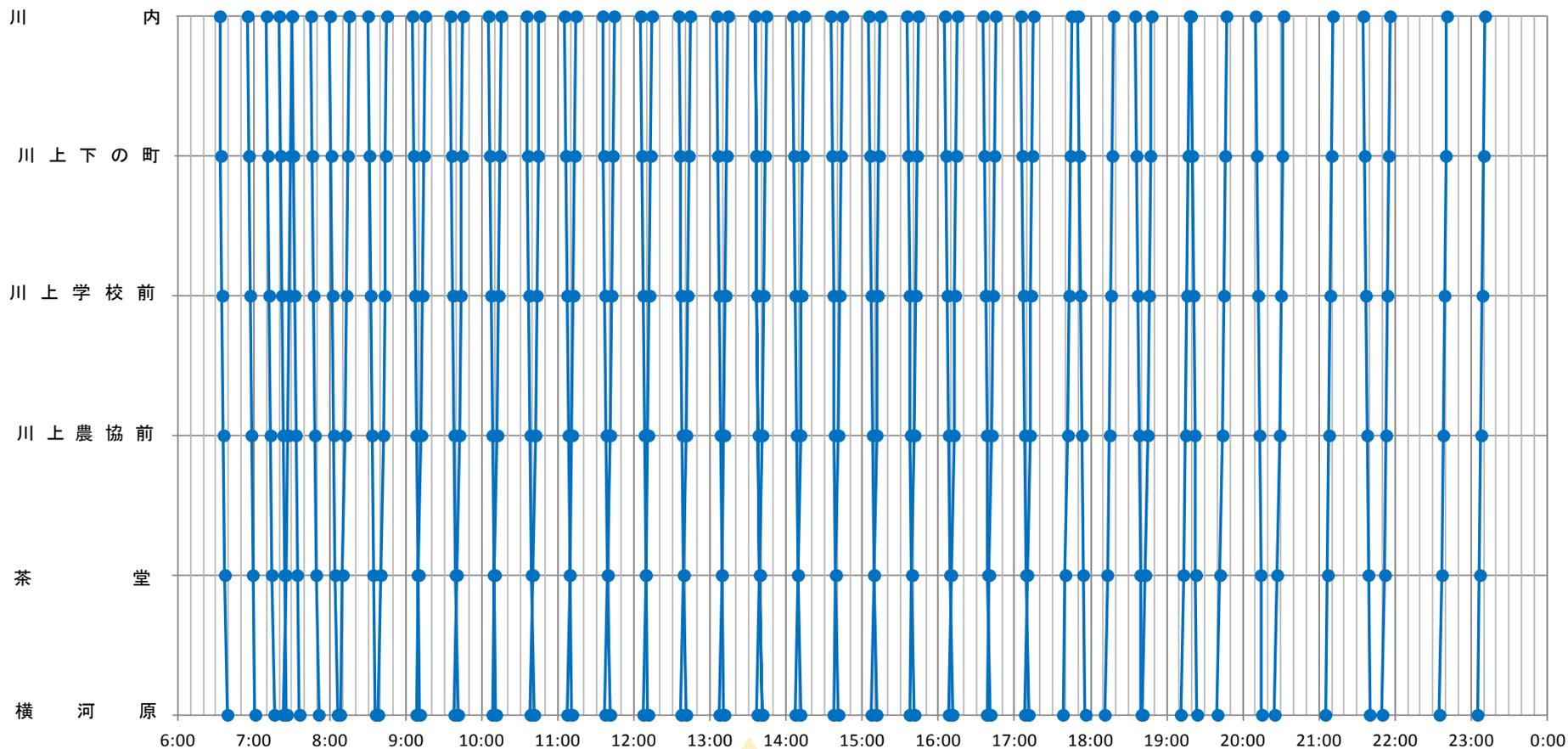
# ⑤ 現在の市内路線バス運行状況

横河原での山間路線と鉄道の乗り継ぎ時間(再掲)



# ⑤ 現在の市内路線バス運行状況

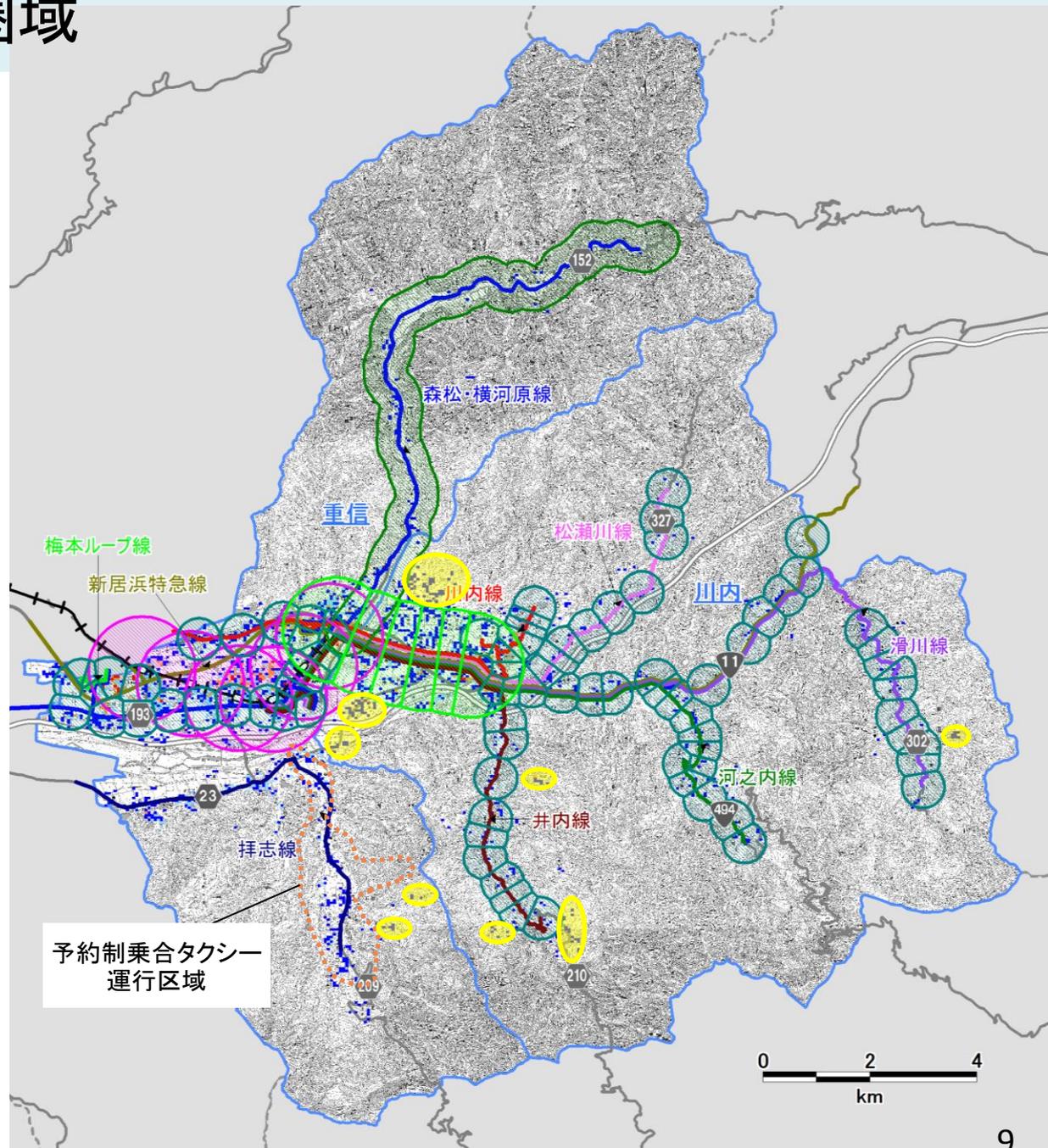
## 川内線の運行状況



基本は30分おきに運行。  
朝夕の通勤・通学時間帯にはさらに密なダイヤとなっている

# ⑥ 乗合交通空白圏域

● 乗合交通空白圏域



## ⑦ 現状のまとめ

- 人口が減少し、高齢化が進行（山間部では顕著）
- 鉄道のサービス水準は変わっていないが、利用者数は微減
- 市内山間路線は、見直しにより新たなサービスで運行中
- 鉄道との乗継利便性高い（結節点整備も進行中）
- 幹線である川内線のサービス水準も高い
- 乗合交通の圏域に入っていない地区が存在する

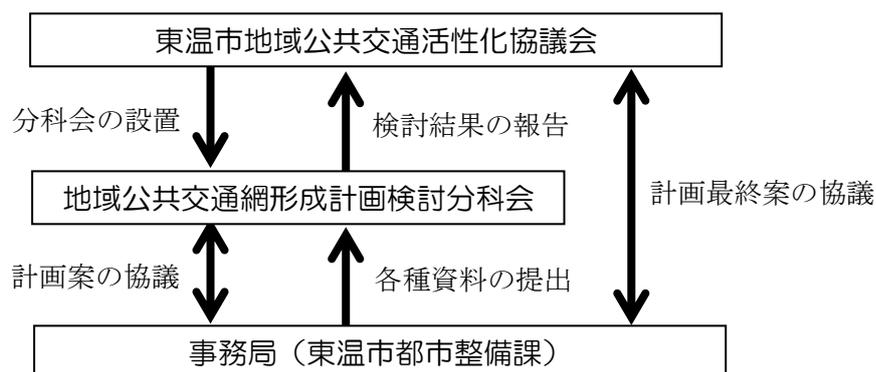


## 地域公共交通網形成計画検討分科会の設置について（案）

### 1. 目的

計画素案の作成を行うことを目的に本協議会内にワーキンググループとして計画検討分科会を設置する。

### 2. 位置づけ



### 3. 分科会構成

5人程度（協議会委員又は委員と同一組織内の者で委員が推薦する者）

### 4. スケジュール（予定）

時期	内容
平成27年11月12日（木）	平成27年度第2回協議会 ◆これまでの取り組みの評価 ◆分科会の設置
平成27年11月～平成28年1月	分科会の開催（月2回程度）
平成28年2月上旬	平成27年度第3回協議会 ◆計画素案の提示
平成28年2月下旬	平成27年度第4回協議会 ◆計画最終案の提示
平成28年2月下旬（2週間程度）	パブリックコメント（意見公募）
平成28年3月中旬	計画の決定

## 東温市地域公共交通網形成計画検討分科会設置規程（案）

平成27年 月 日制定

### （趣旨）

第1条 この規程は、東温市地域公共交通活性化協議会規約（以下「規約」という。）第10条の規定に基づき、東温市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）の分科会として設置する東温市地域公共交通網形成計画検討分科会（以下「分科会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### （所掌事務）

第2条 分科会は、規約第3条第1号に掲げる地域公共交通網形成計画の策定について、専門的な調査又は検討を行うものとする。

### （組織）

第3条 分科会を構成する委員（以下「委員」という。）は、協議会の会長が指名する。

### （分科会長）

第4条 分科会に分科会長を置く。

- 2 分科会長は、委員の互選により定める。
- 3 分科会長は、分科会を代表し、分科会を掌握する。
- 4 分科会長に事故があるとき又は分科会長が欠けたときは、あらかじめ分科会長が指定する者がその職務を代理する。

### （会議）

- 第5条 分科会の会議（以下「会議」という。）は、分科会長が招集し、議長となる。
- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
  - 3 分科会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。

### （協議結果の取扱い）

第6条 分科会において協議を行った事項については、協議会へ報告するものとする。

### （庶務）

第7条 会議の庶務は、協議会事務局が行う。

### （委任）

第8条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、会長が別に定める。

## 附 則

### （施行期日）

- 1 この規程は、平成27年 月 日から施行する。

### （有効期限）

- 2 この規程は、東温市地域公共交通網形成計画の策定をもって、その効力を失う。